

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「農業の活力増進に関する取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「農業の活力増進に関する取組」が30.0%と最も割合が高く、次いで、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が29.9%、「スポーツによる交流促進を進める取組」が20.4%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、満足度は「スポーツによる交流促進を進める取組」「農業の活力増進に関する取組」が令和2年度に大幅に増加して、以降はそれぞれ2割台、3割台で推移している。「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は前年度より2.6ポイント減少している。

図13 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(n=1,706)

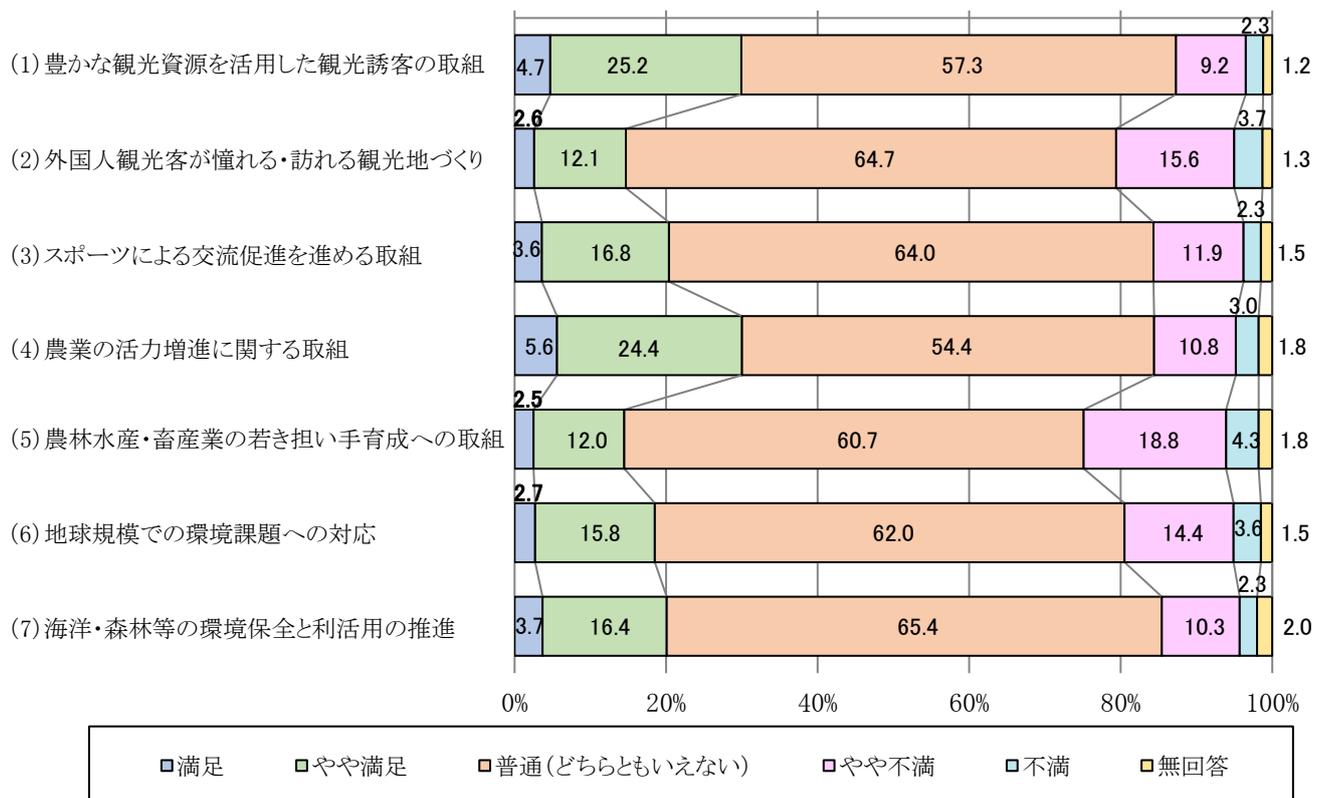
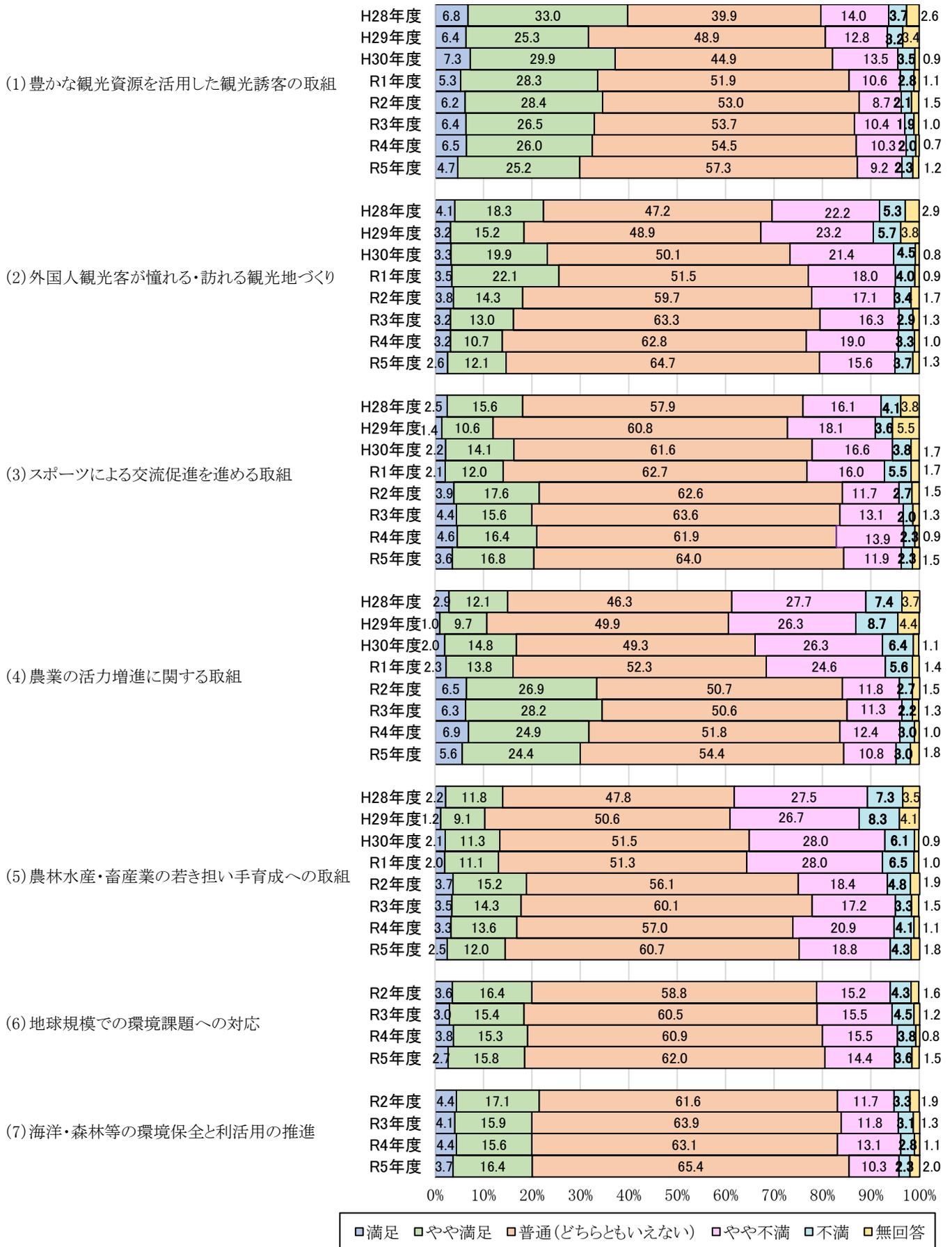


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(2)外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり

【+0.8】

(7)海洋・森林の環境保全と利活用の推進

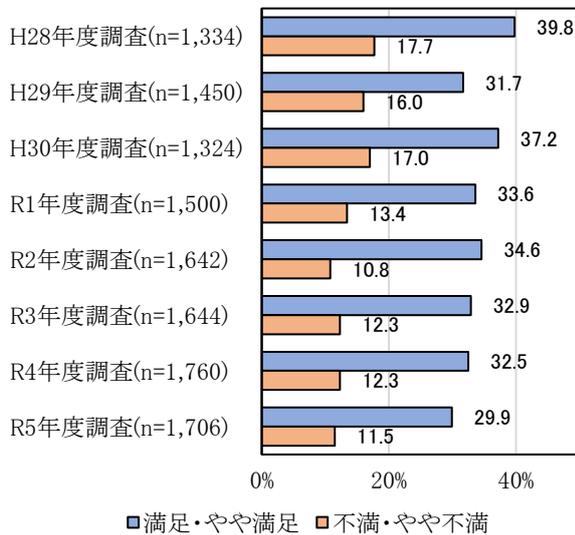
【+0.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

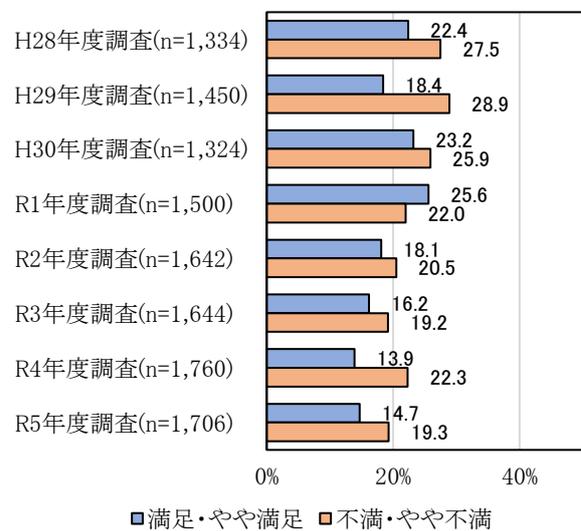
前年度より上がった項目は無し

●満足度・不満足度の比較

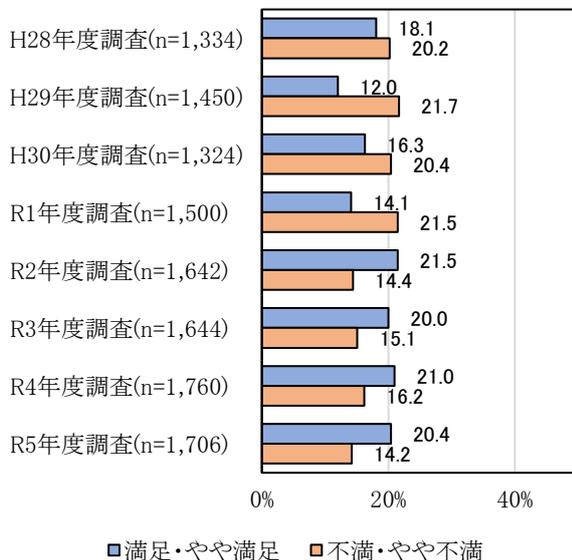
(1)豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



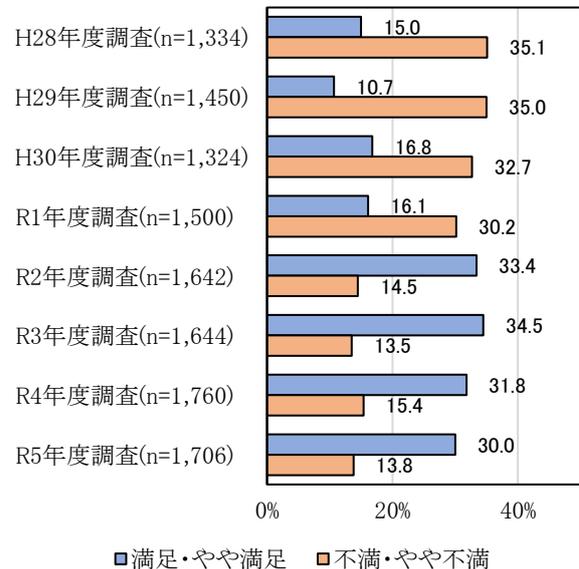
(2)外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



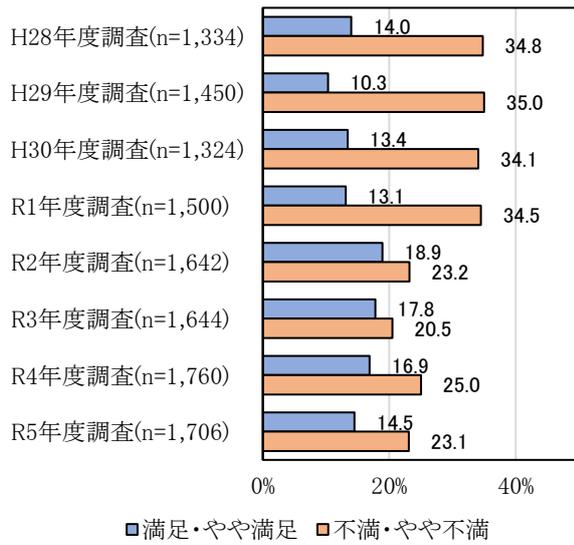
(3)スポーツによる交流促進を進める取組



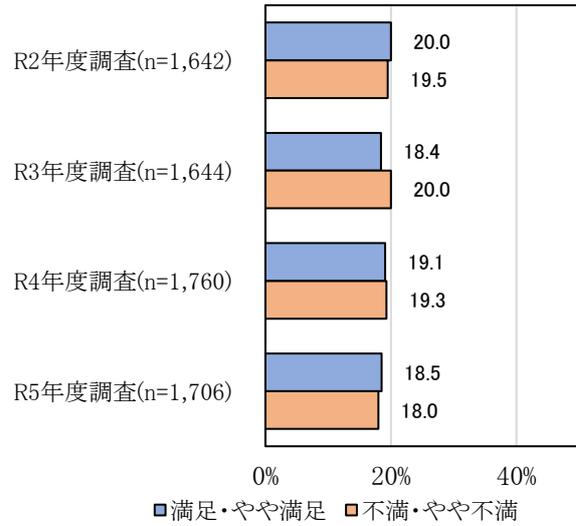
(4)農業の活力増進に関する取組



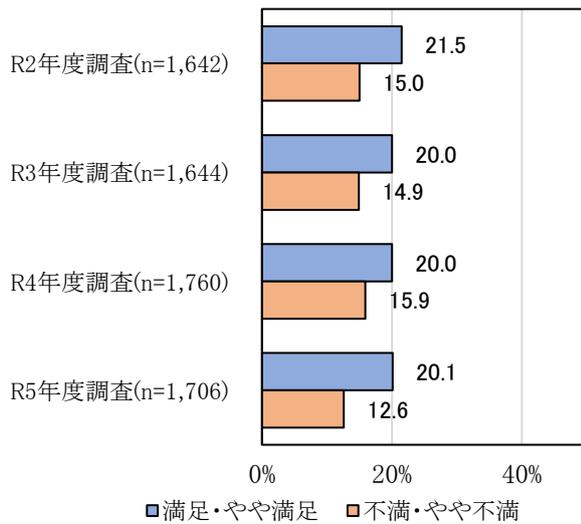
(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.4%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が54.2%、「農業の活力増進に関する取組」が50.8%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が毎年度毎に増加し、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」が令和5年度は前年度より3.1ポイント増加している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」は年代が若いほど割合が高い傾向となっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)

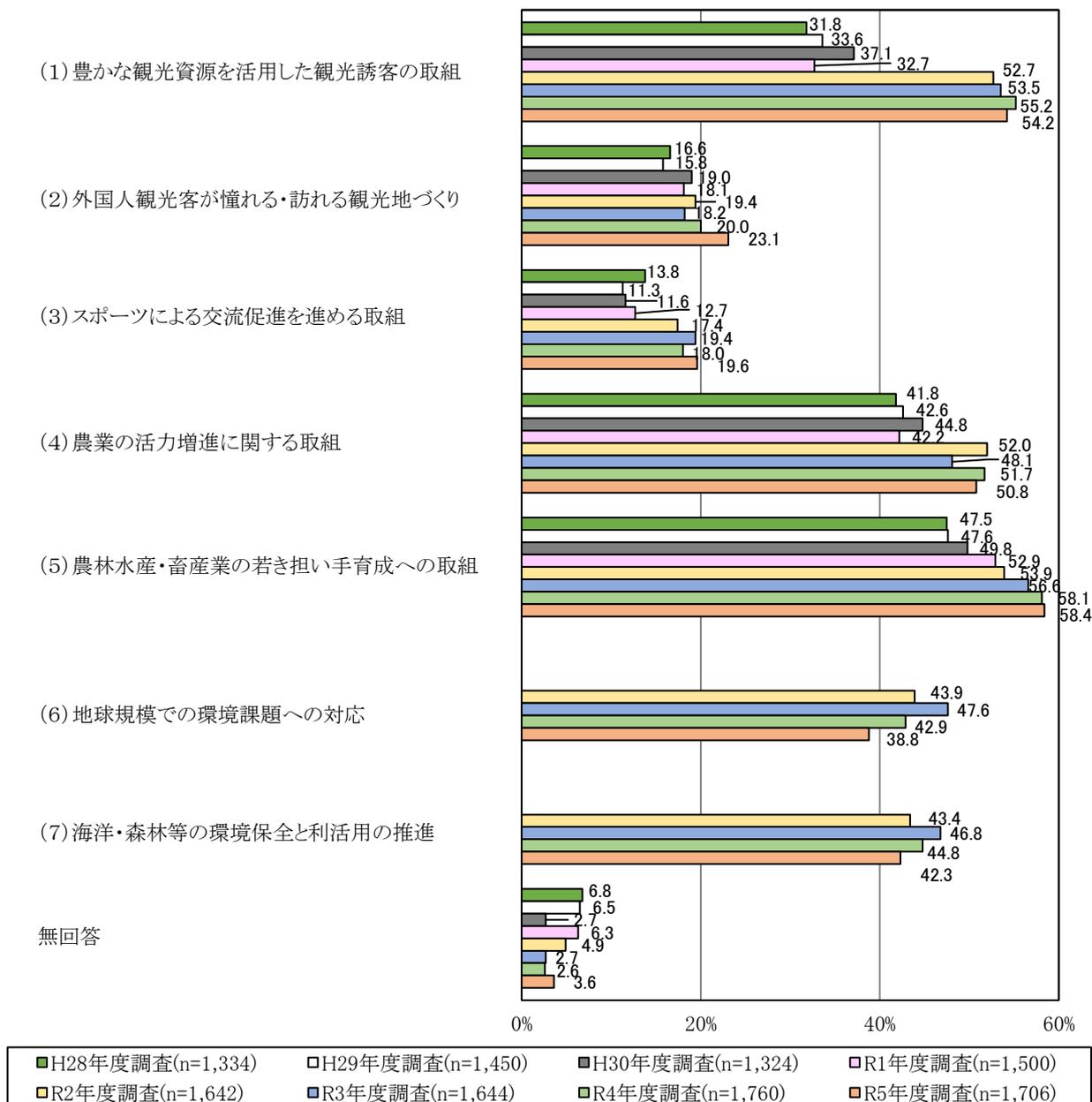
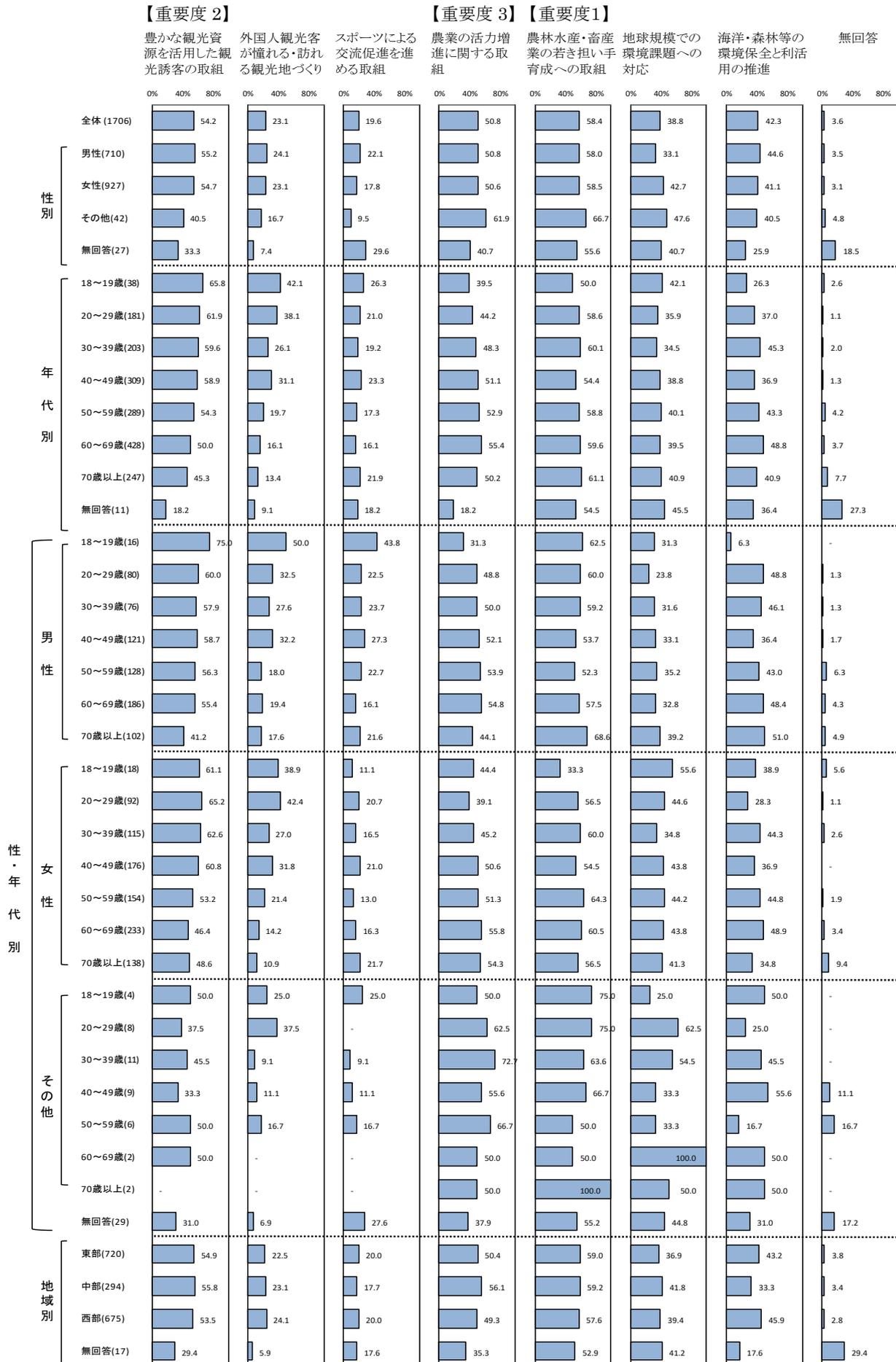


図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が32.8%と最も高く、次いで「健康寿命の延伸」が21.5%、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が20.5%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「地域で子育て世代を支える取組」「絆を活かした中山間市域・まちなか振興に関する取組」の満足度は、令和5年度は前年度より約3ポイント減少している。

また、「絆を活かした中山間市域・まちなか振興に関する取組」の不満(不満・やや不満足)の計は、令和5年度は前年度より4.8ポイント増加している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1,706)

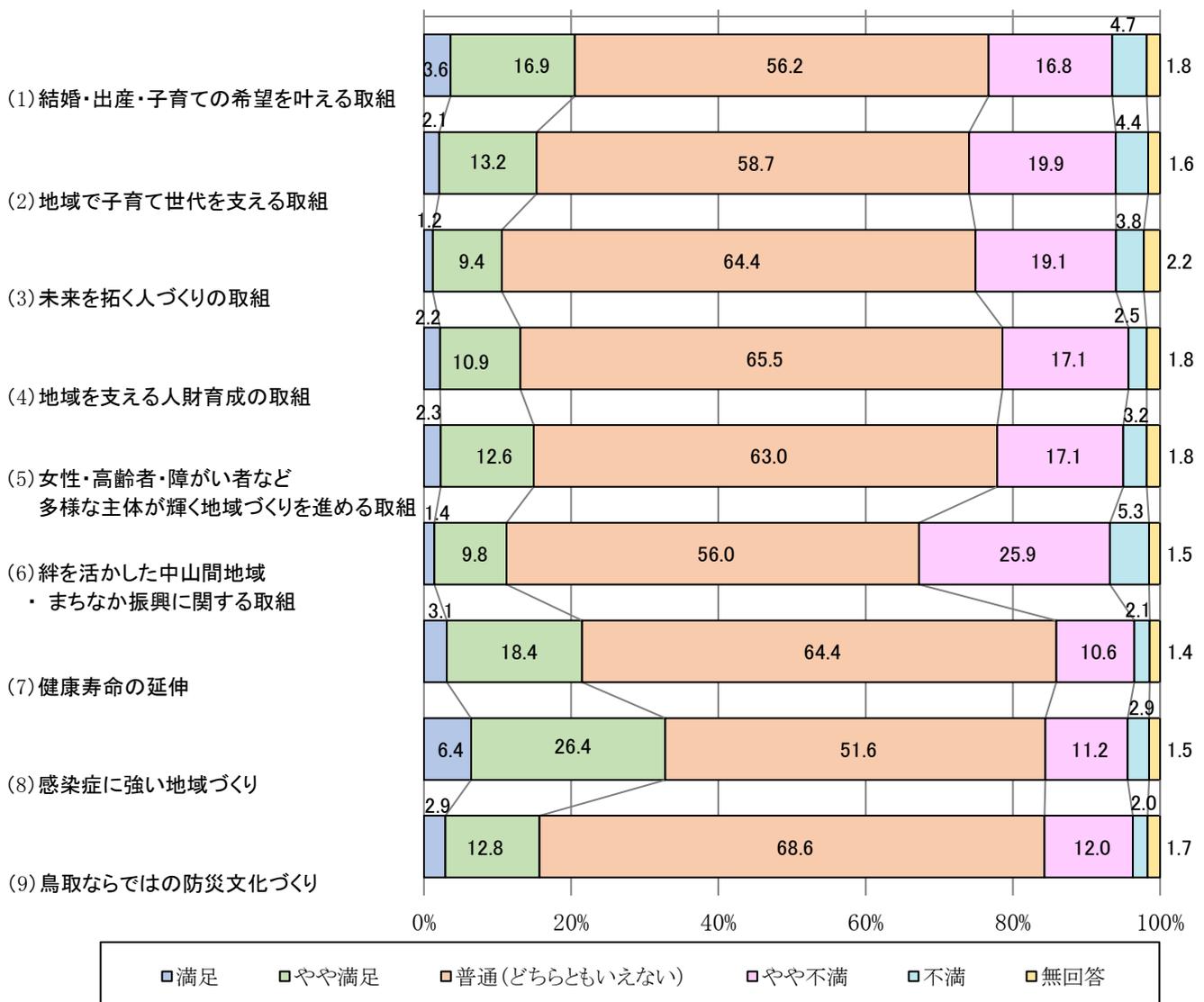
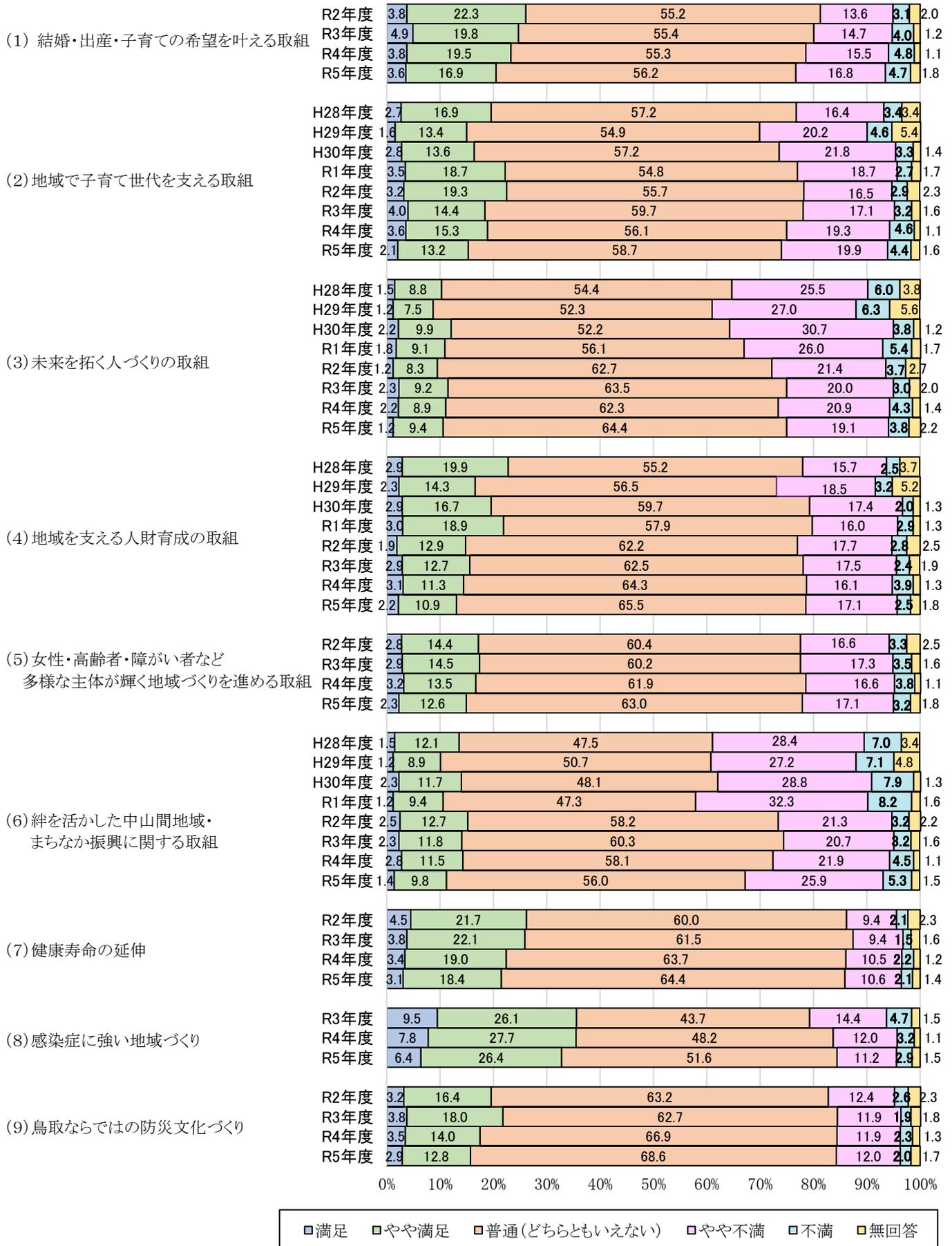


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

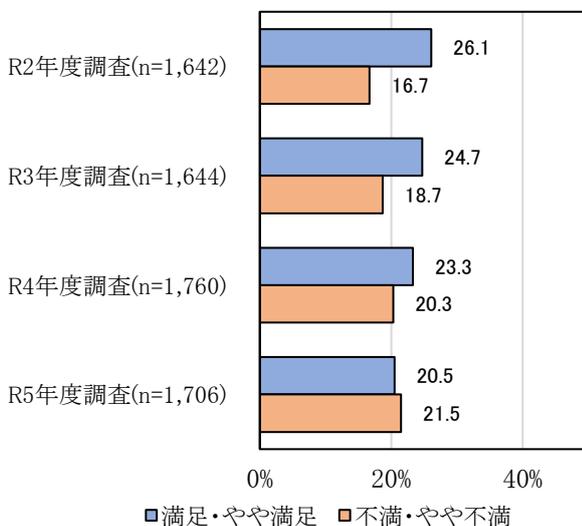
前年度より上がった項目は無し

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

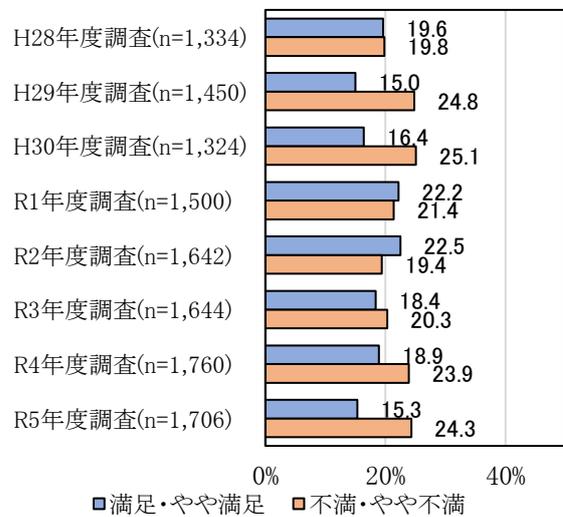
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+4.8】
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+1.2】
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.4】

●満足度・不満足度の比較

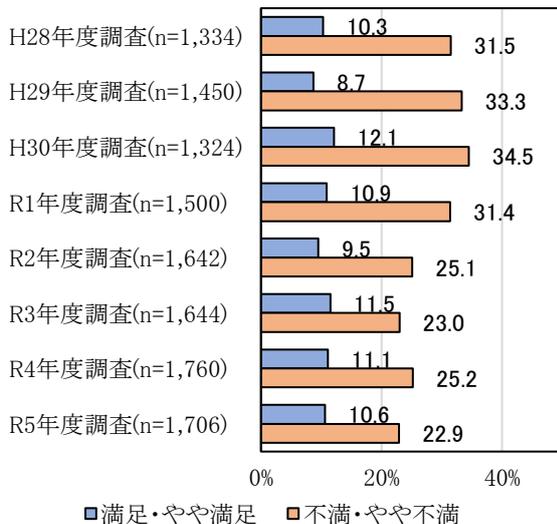
(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



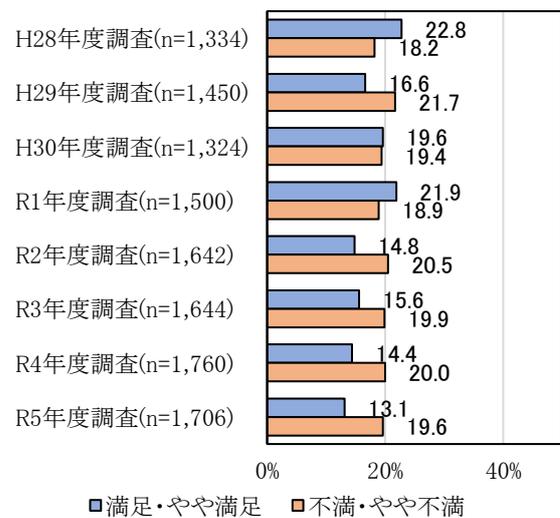
(2) 地域で子育て世代を支える取組



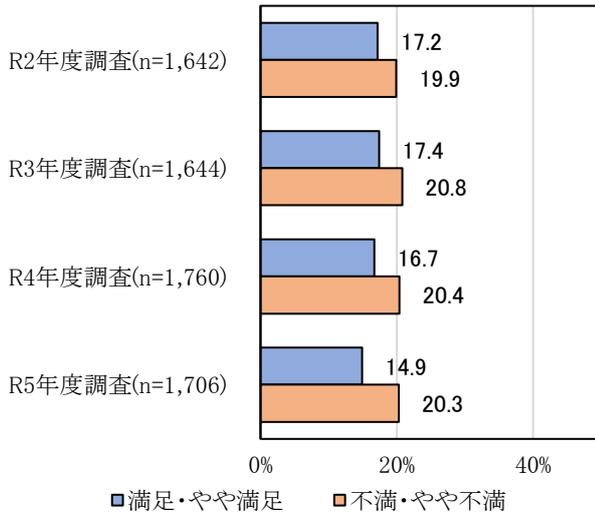
(3) 未来を拓く人づくりの取組



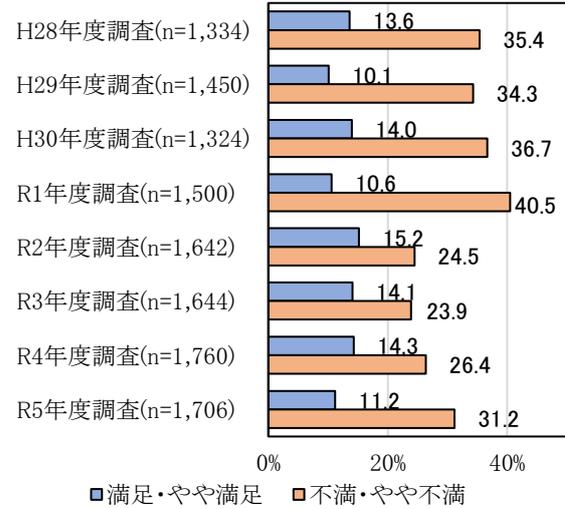
(4) 地域を支える人財育成の取組



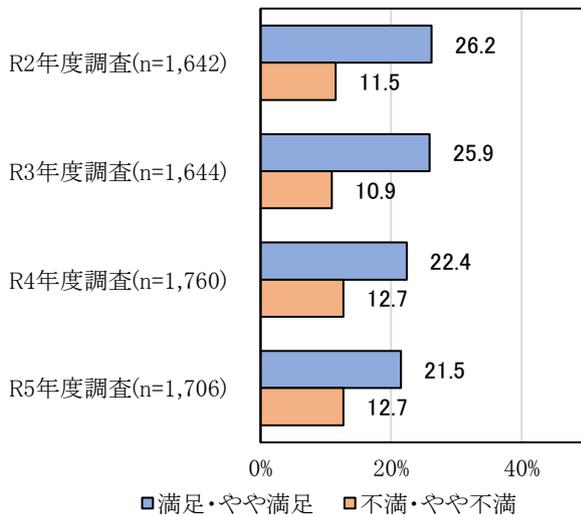
**(5) 女性・高齢者・障がい者など
多様な主体が輝く地域づくりを進める取組**



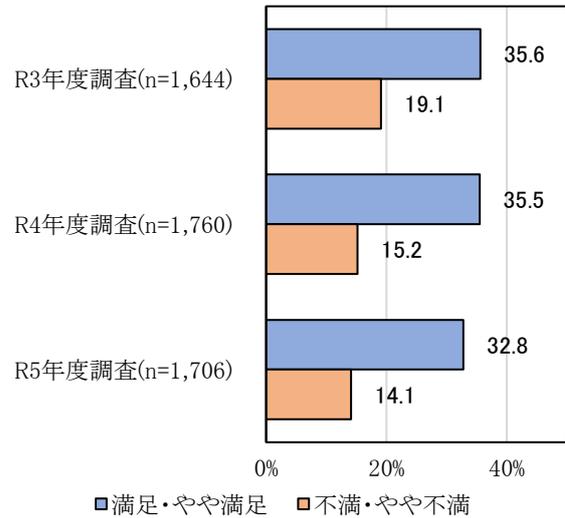
**(6) 絆を活かした中山間地域・
まちなか振興に関する取組**



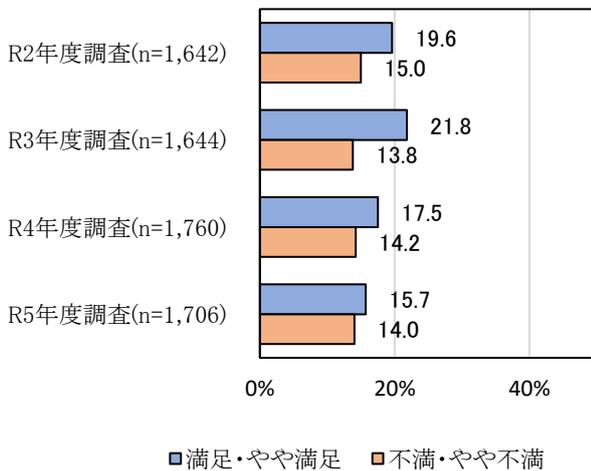
(7) 健康寿命の延伸



(8) 感染症に強い地域づくり



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



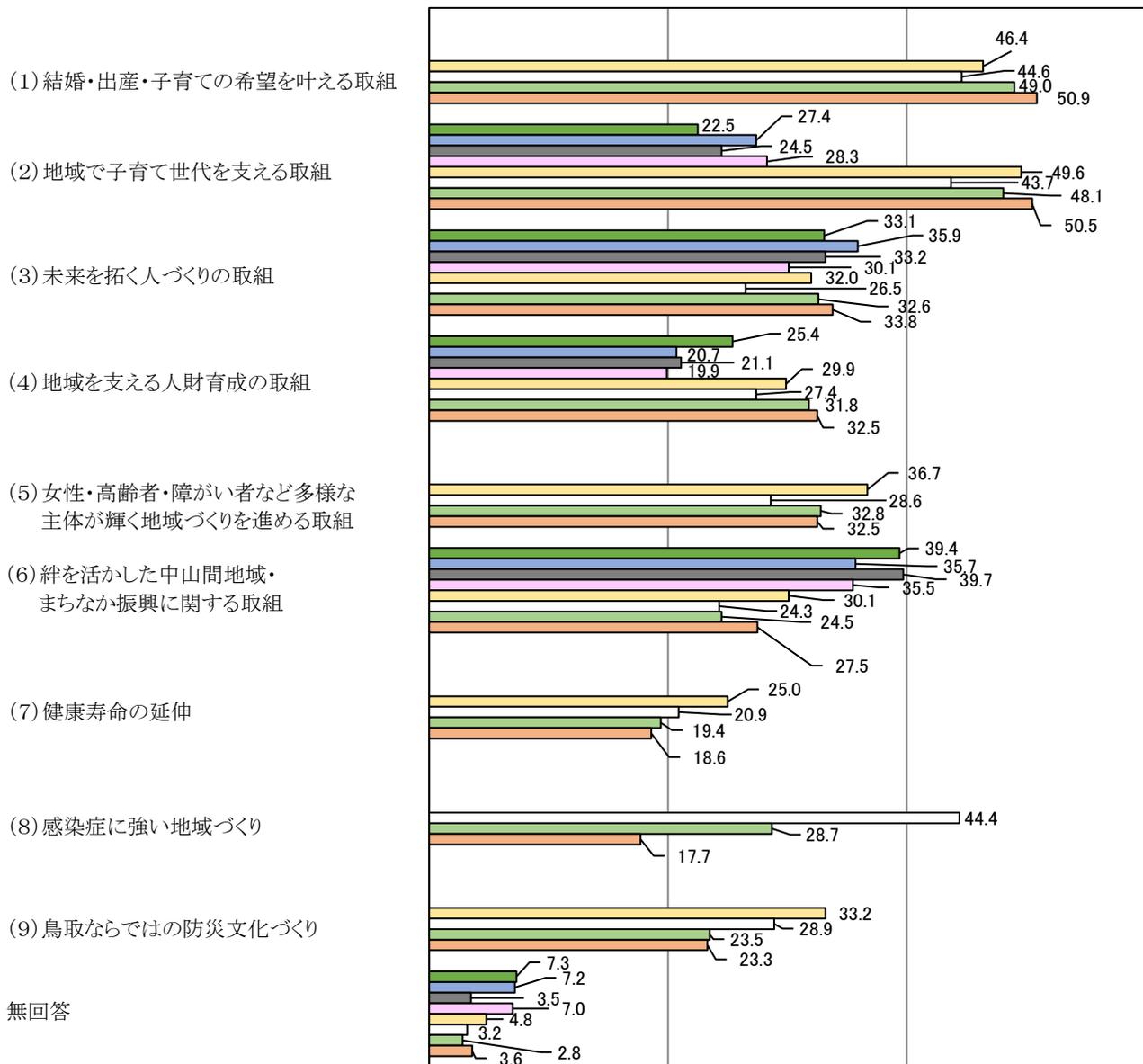
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「未来を拓く人づくりの取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が50.9%と最も高く、次いで、「地域で子育て世代を支える取組」が50.5%、「未来を拓く人づくりの取組」が33.8%となっている。

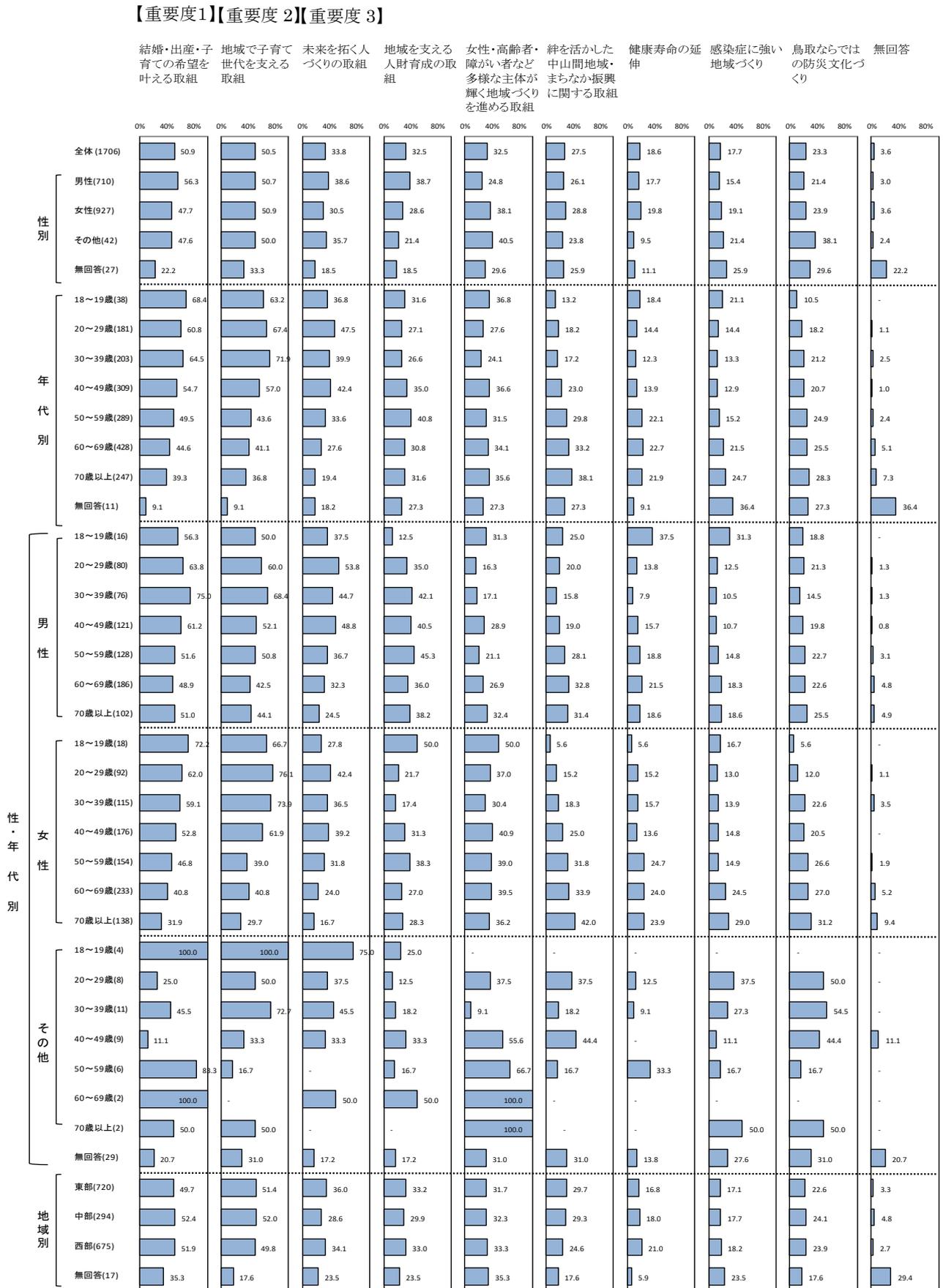
平成28年度-令和5年度を比較してみると、減少傾向だった「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」が令和5年度は前年度より3ポイント以上高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)



■ H28年度調査(n=1,334) ■ H29年度調査(n=1,450) ■ H30年度調査(n=1,324) □ R1年度調査(n=1,500)
 ■ R2年度調査(n=1,642) □ R3年度調査(n=1,644) ■ R4年度調査(n=1,760) ■ R5年度調査(n=1,706)

図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～アート・文化、移住定住、防災基盤構築の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「アート・文化による地域づくりへの取組」が20.0%と最も高く、次いで「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が19.0%、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が18.8%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、令和2年度以降は横ばいの項目が多いが、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「アート・文化による地域づくりへの取組」の満足度は令和5年度は前年度より約2ポイント減少している。

また、不満(不満・やや不満足)については、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が令和5年度は前年度より約3ポイント減少している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,706)

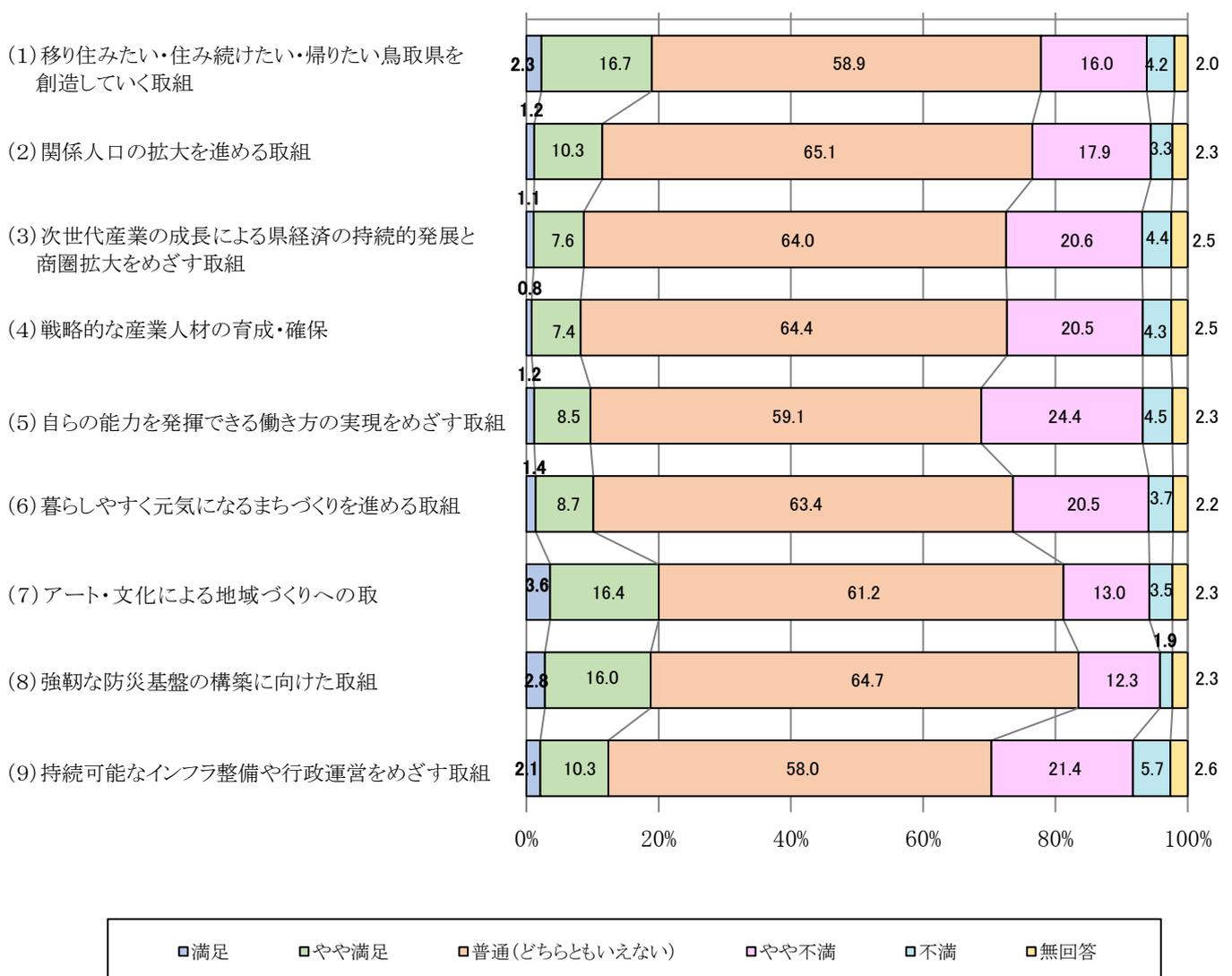
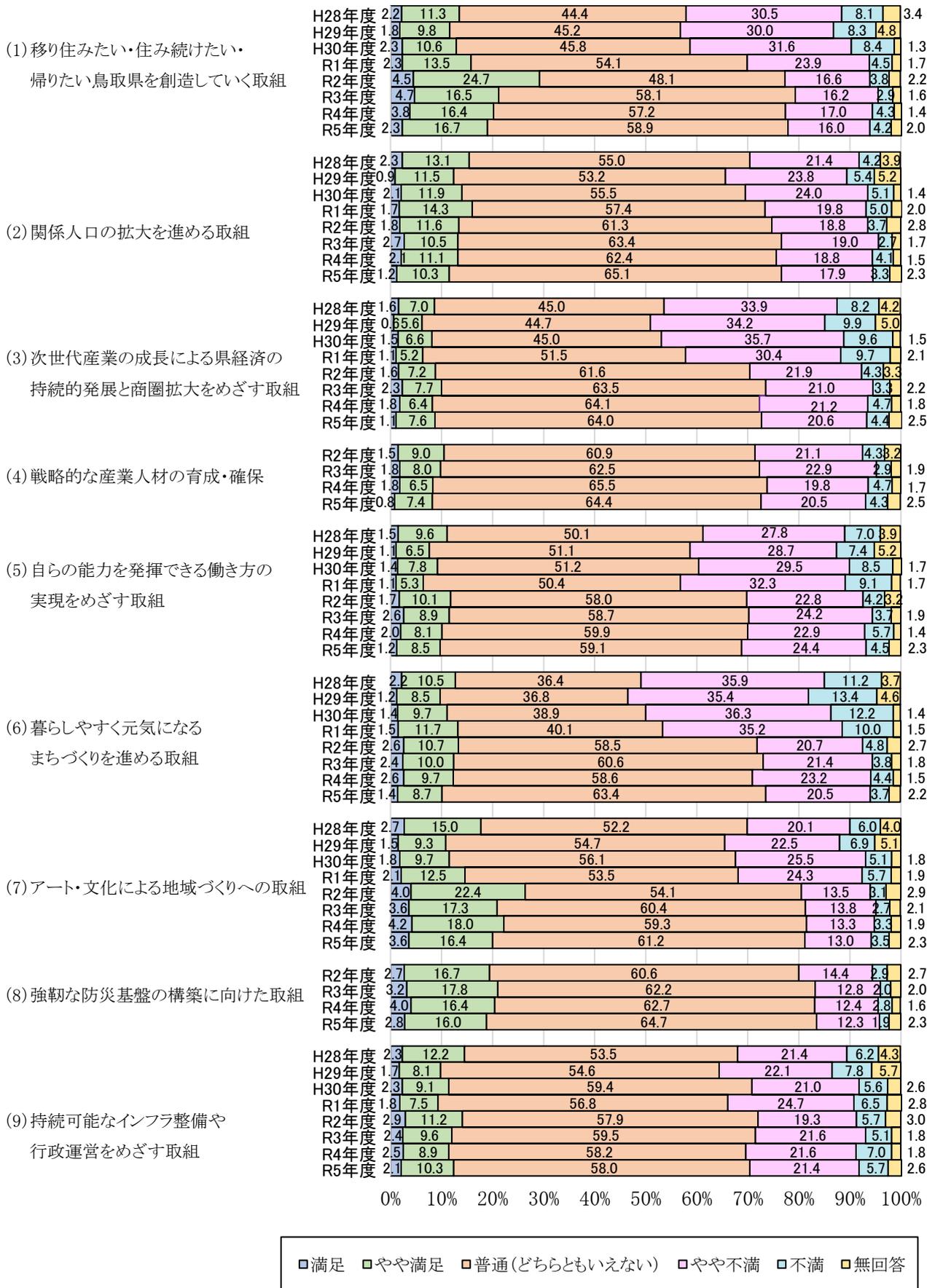


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

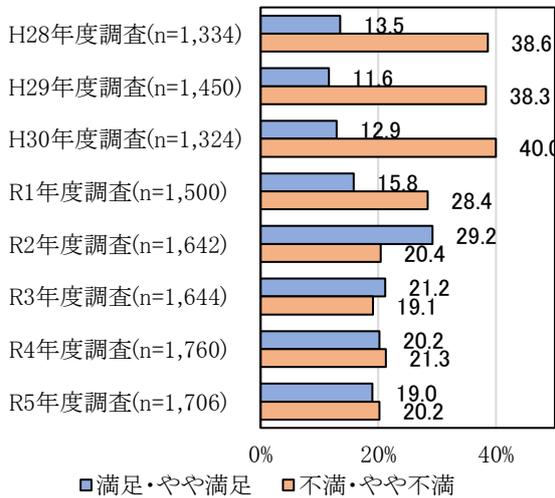
- (9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.0】
- (3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組 【+0.5】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

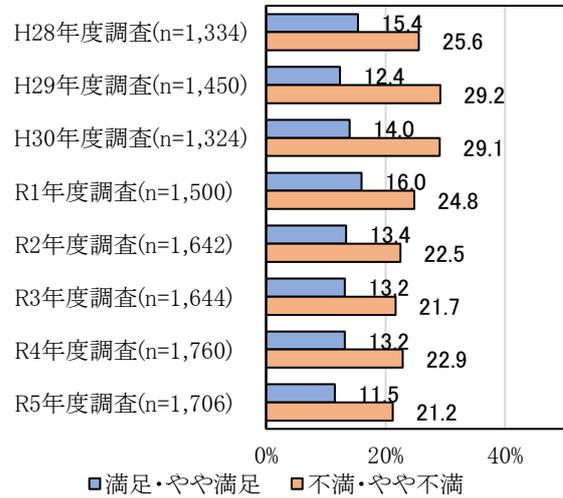
- (4) 戦略的な産業人材の育成・確保 【+0.3】
- (5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.3】

●満足度・不満足度の比較

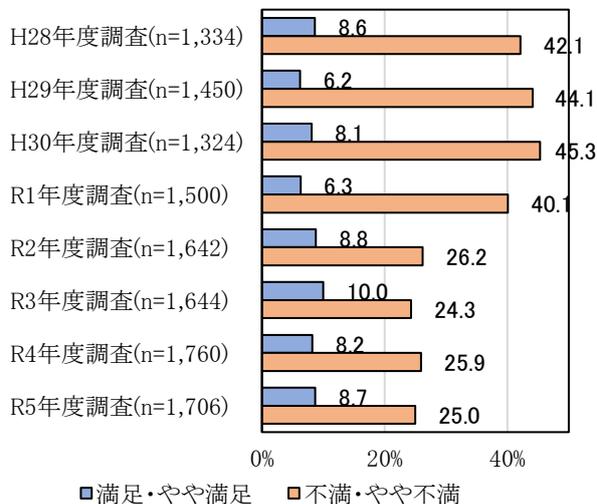
(1) 移り住みたい・住み続けたい・
帰りたい鳥取県を創造していく取組



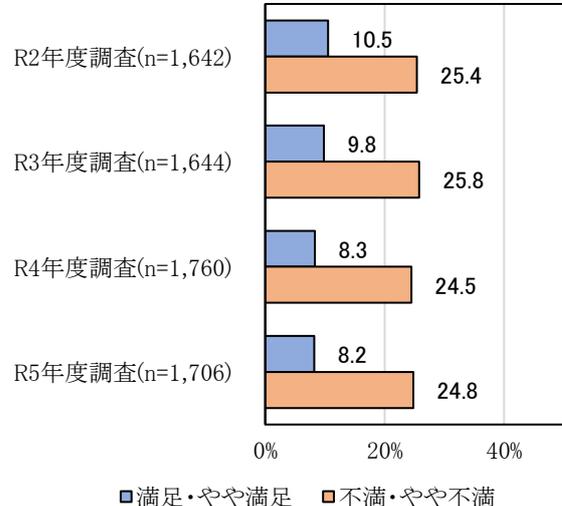
(2) 関係人口の拡大を進める取組



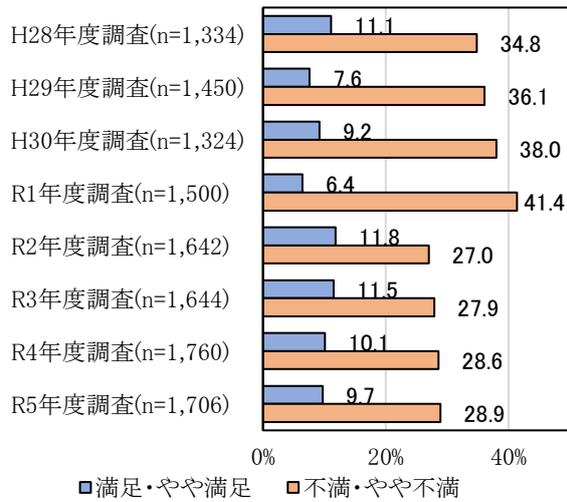
(3) 次世代産業の成長による県経済の
持続的発展と商圈拡大をめざす取組



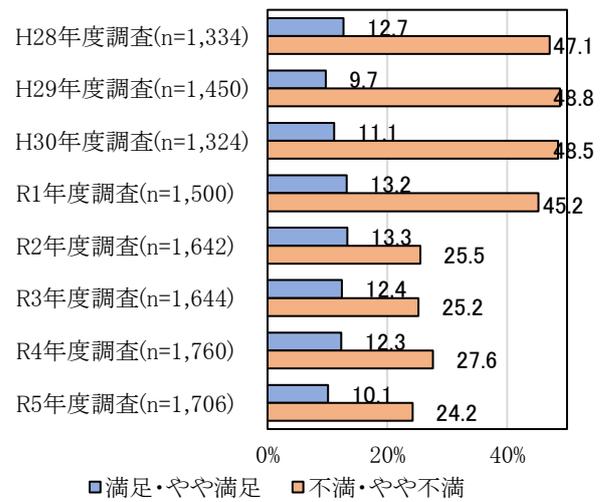
(4) 戦略的な産業人材の育成・確保



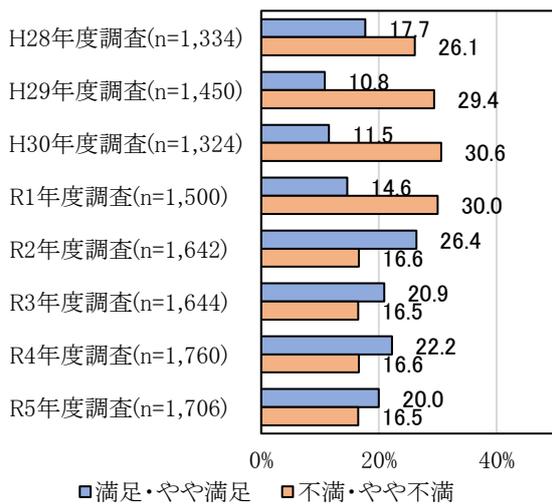
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



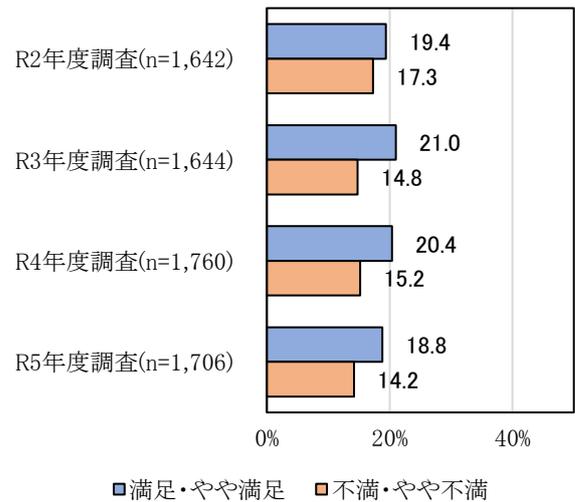
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



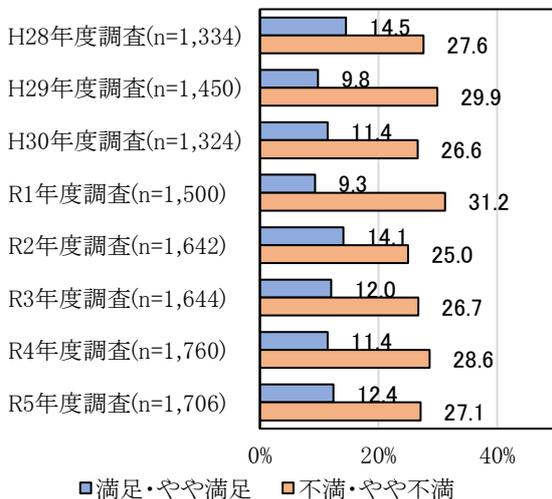
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が62.9%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が44.4%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が40.4%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、28年度から「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」は約10ポイント増加し、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」は約20ポイント増加している。

性・年代別でみると、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は、全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図23 「幸せと感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

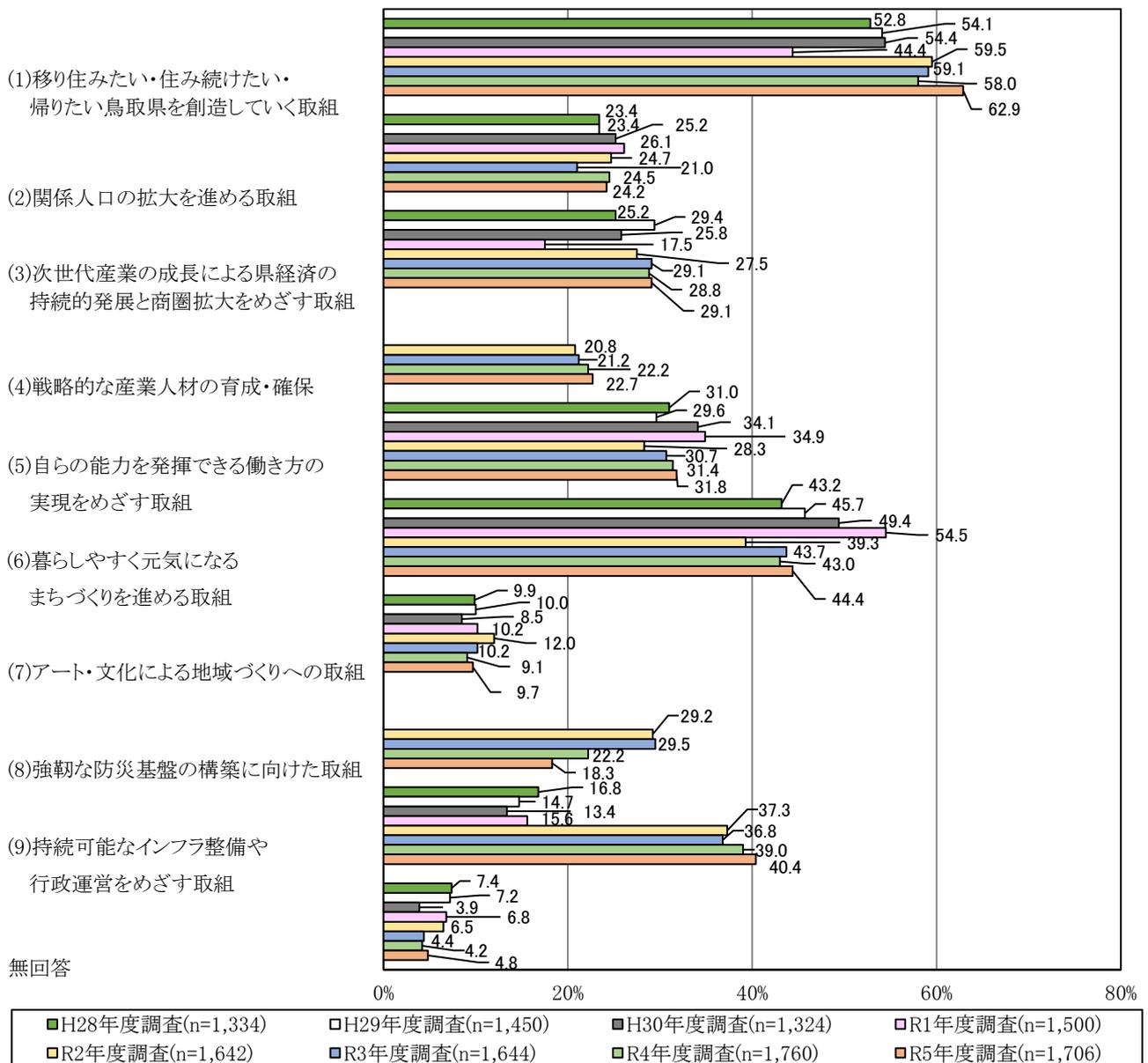
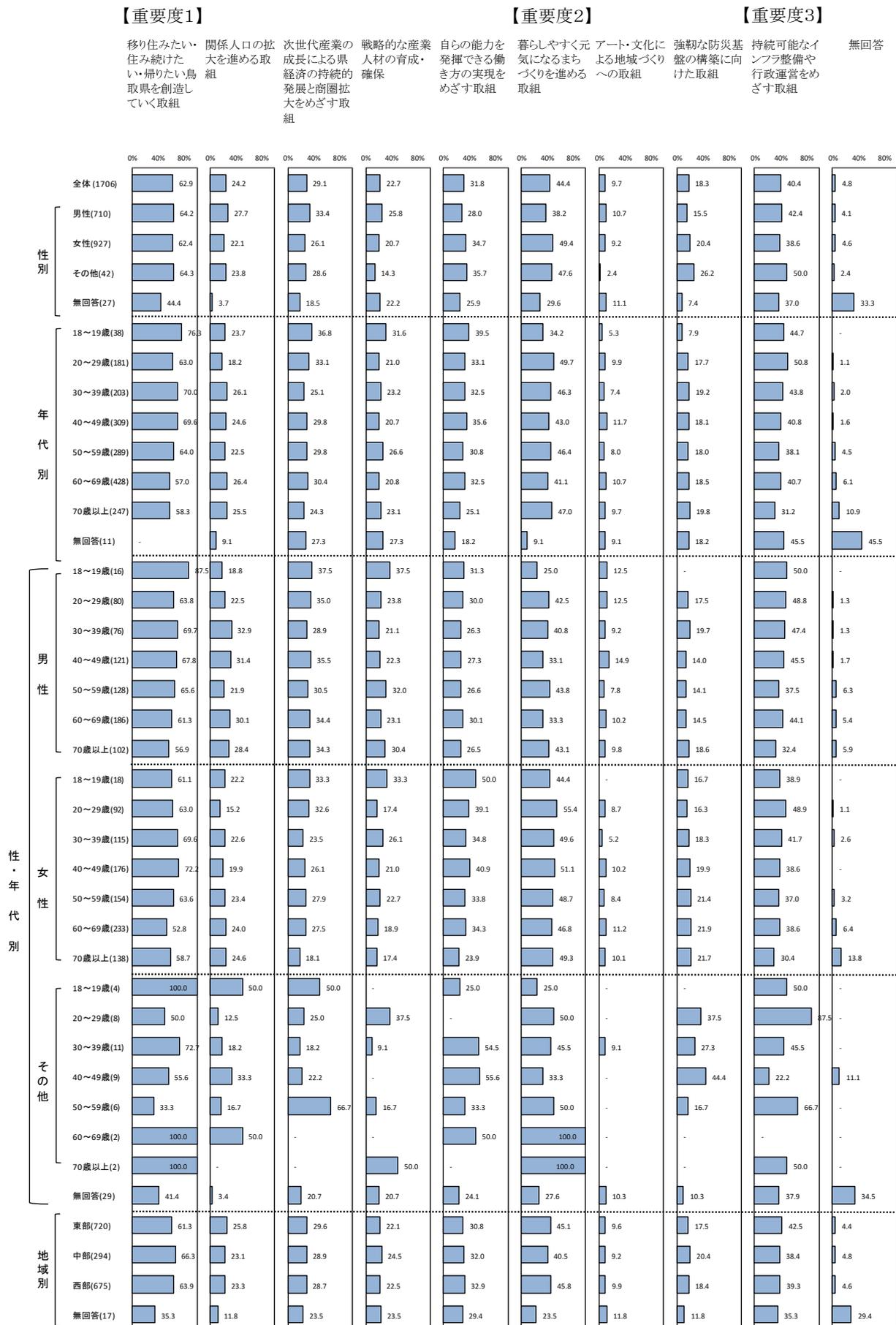


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

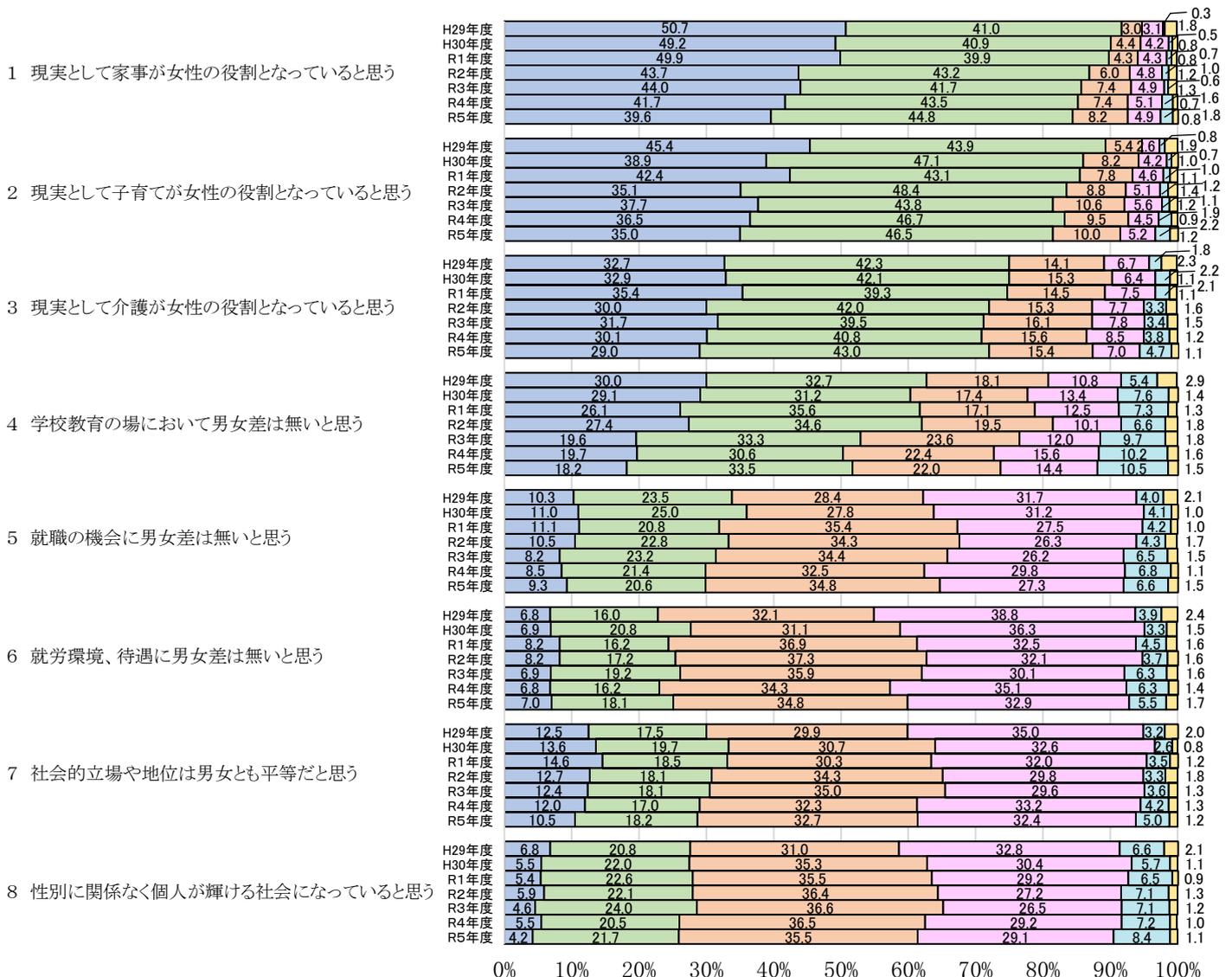
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が84.4%と最も高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が72.0%となっている。

平成29年度～令和5年度を比較してみると、上記の「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計の割合は年度毎に減少傾向となっている。一方、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」は横ばいである。

図25 男女に関する役割(年次比較)



そう思う どちらかと言えばそう思う どちらかと言えばそう思わない
 そう思わない わからない 無回答

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が58.5%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が44.1%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が44.0%となっている。

令和元年度-5年度を比較してみると、特に「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」については、令和元年度から令和5年度のいずれにおいても6割程度が行政が行うべき施策との認識がある。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は女性では20歳代で高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は男性の20～30歳代で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか(年次比較)

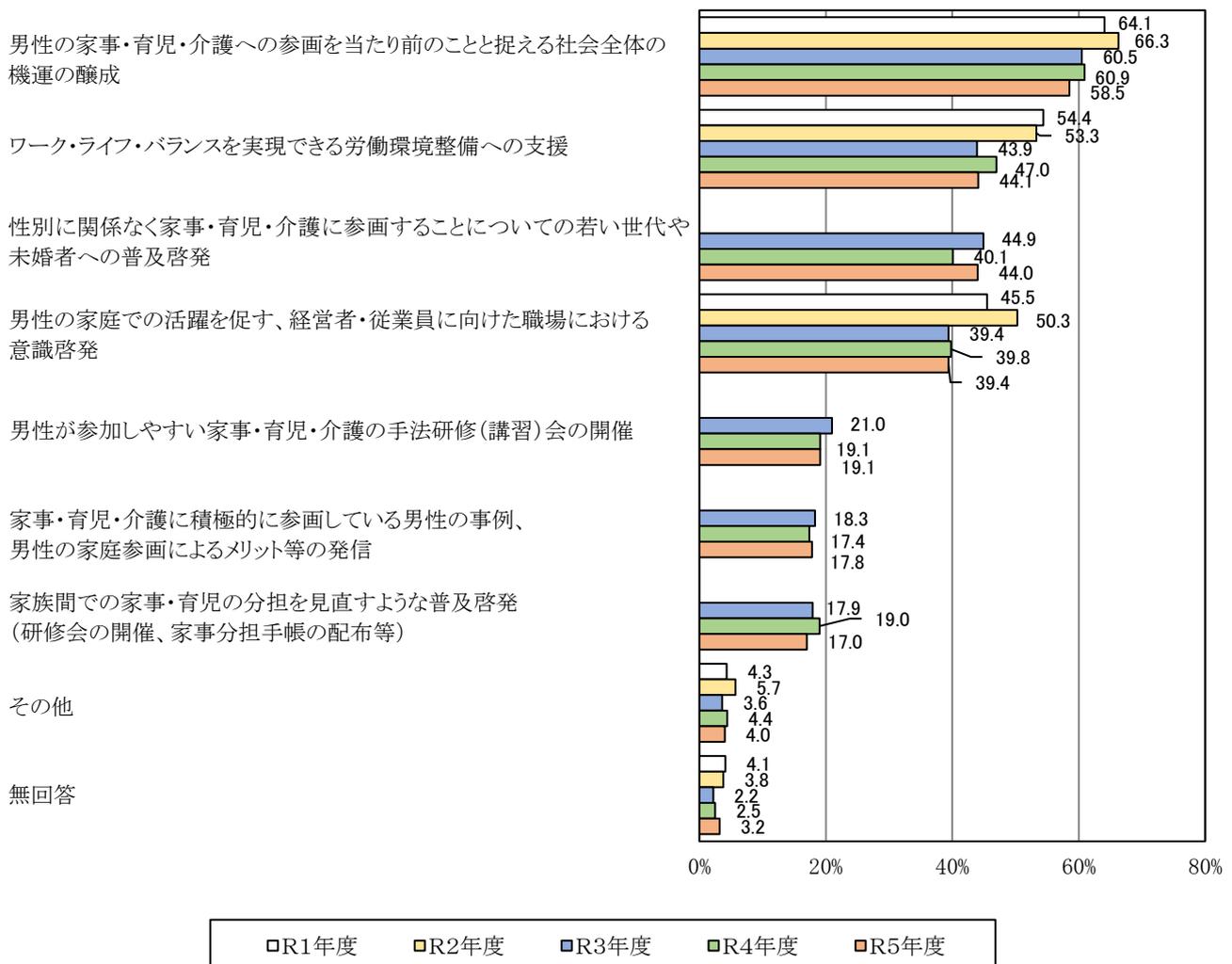
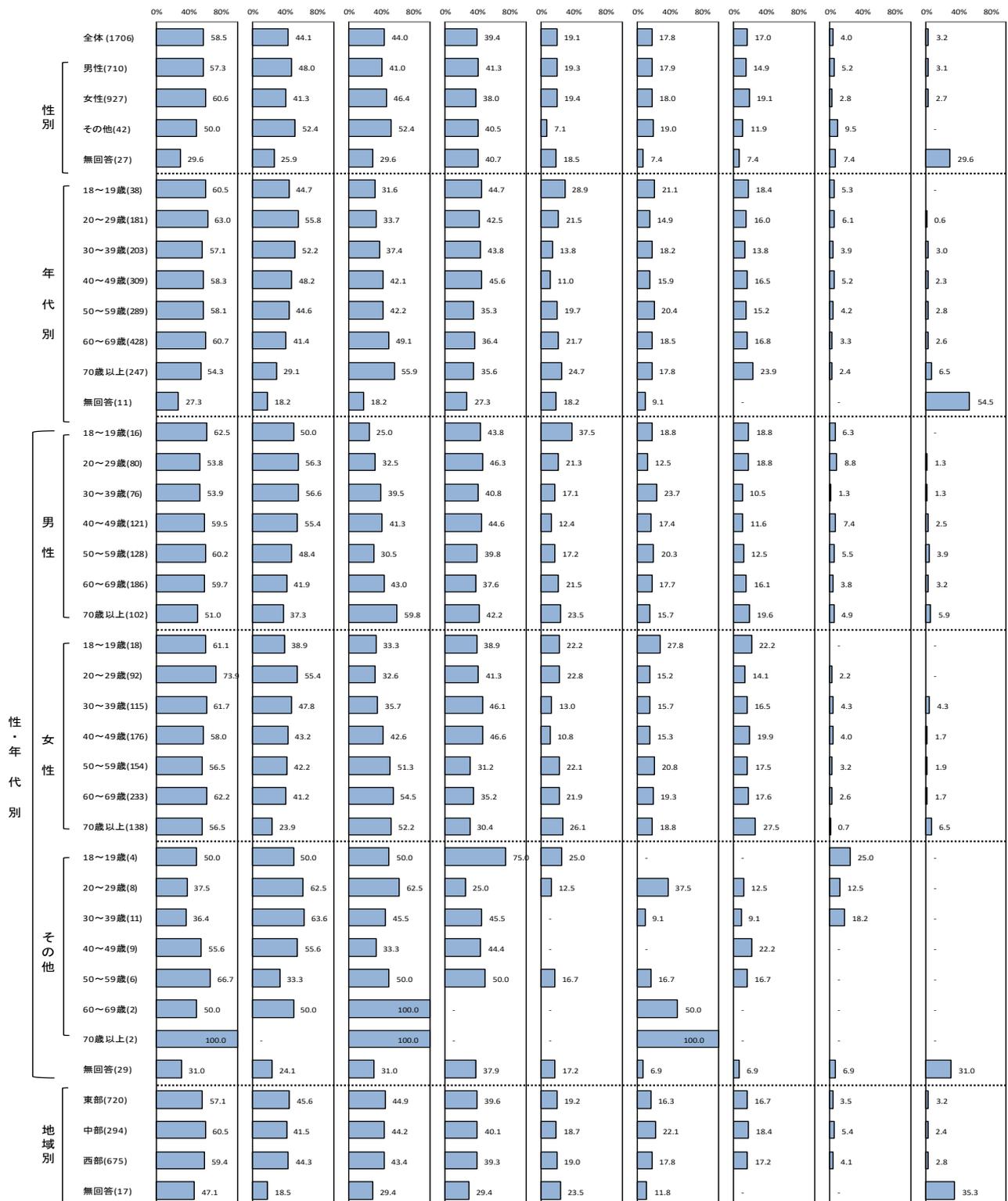


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修(講習)会の開催
家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発(研修会の開催、家事分担手帳の配布等)
その他
無回答



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」が57.6%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が55.5%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.2%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、上記の3項目は常に上位を占めているが、令和5年度は前年度と比較すると横ばいとなっている。

性別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、「長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発」では男性は20歳代、女性は30歳代が最も多く、以降の年代では低くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(年次比較)

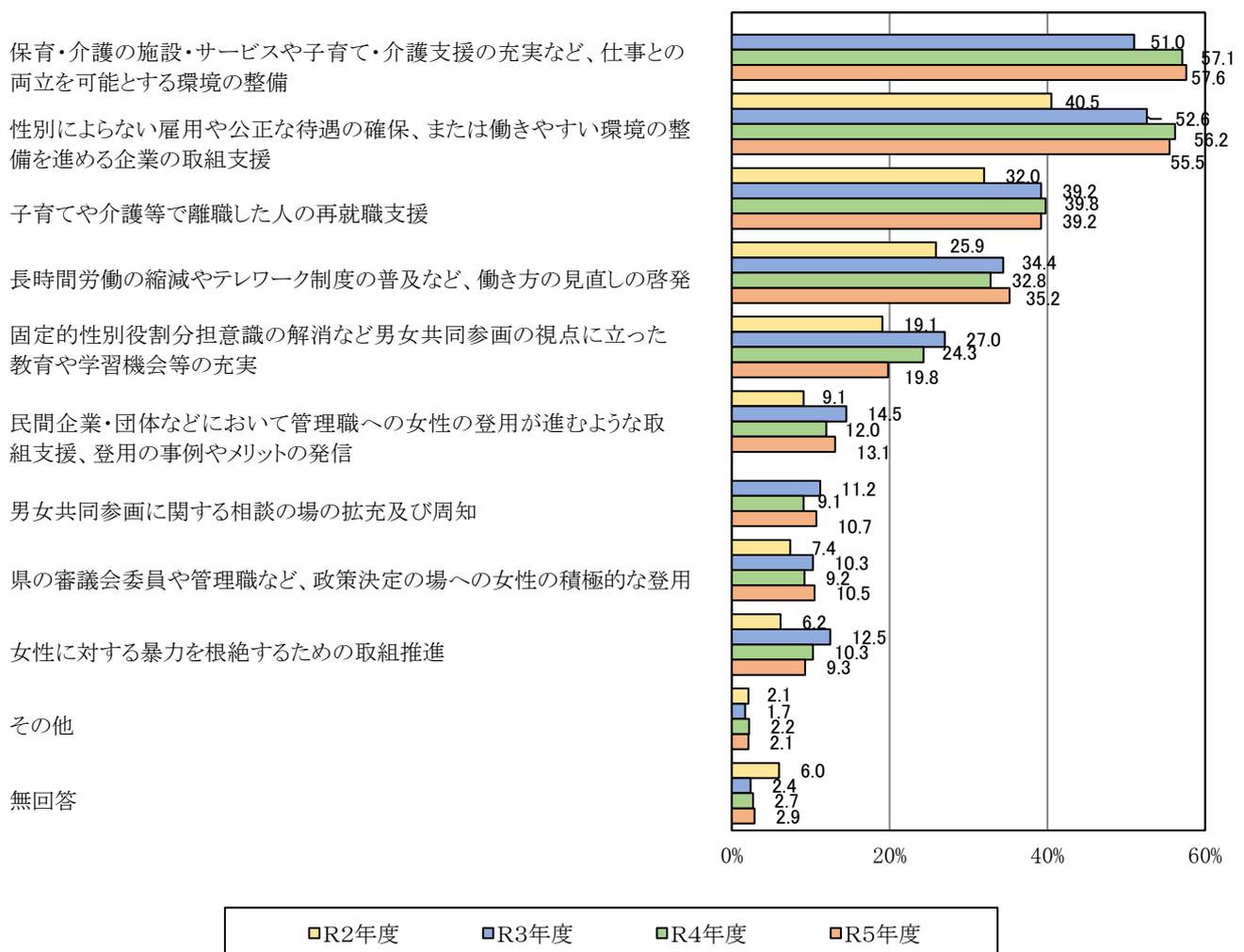
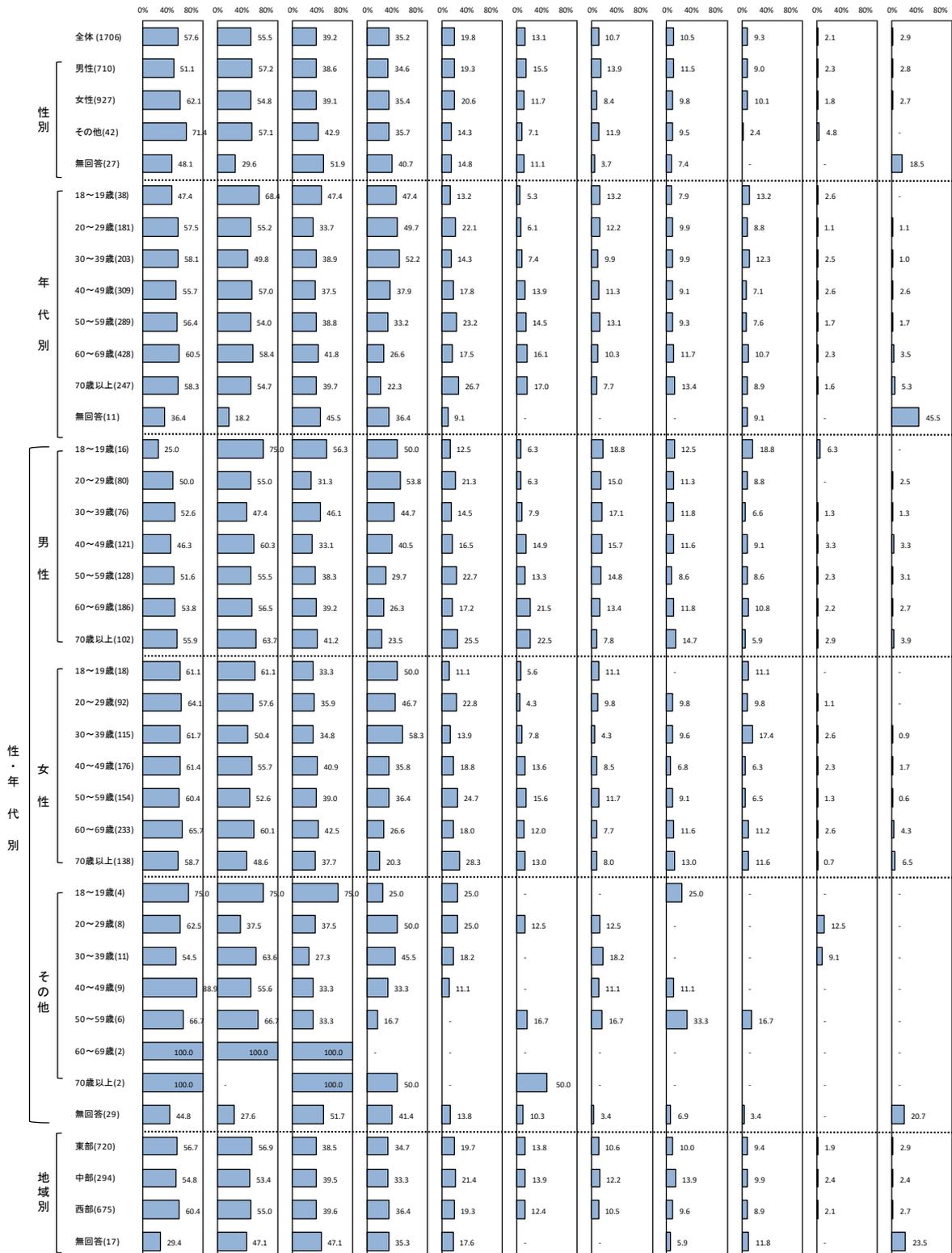


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、また働きやすい環境の整備の取組支援
 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
 長時間労働の縮減やフレック制度の普及など、働き方の見直しの啓発
 固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
 男女共同参画に関する相談の場を拡充及び周知
 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
 その他
 無回答



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

～「聞いたことがある」が約9割、「聞いたことがない」が約1割～

国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が87.9%、「聞いたことがない」が10.8%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、「聞いたことがある」は年度毎に増加しており、令和2年度と比較すると令和5年度は約3倍増加している。

性・年代別でみると、「聞いたことがない」は女性の70歳以上で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか(年次比較)

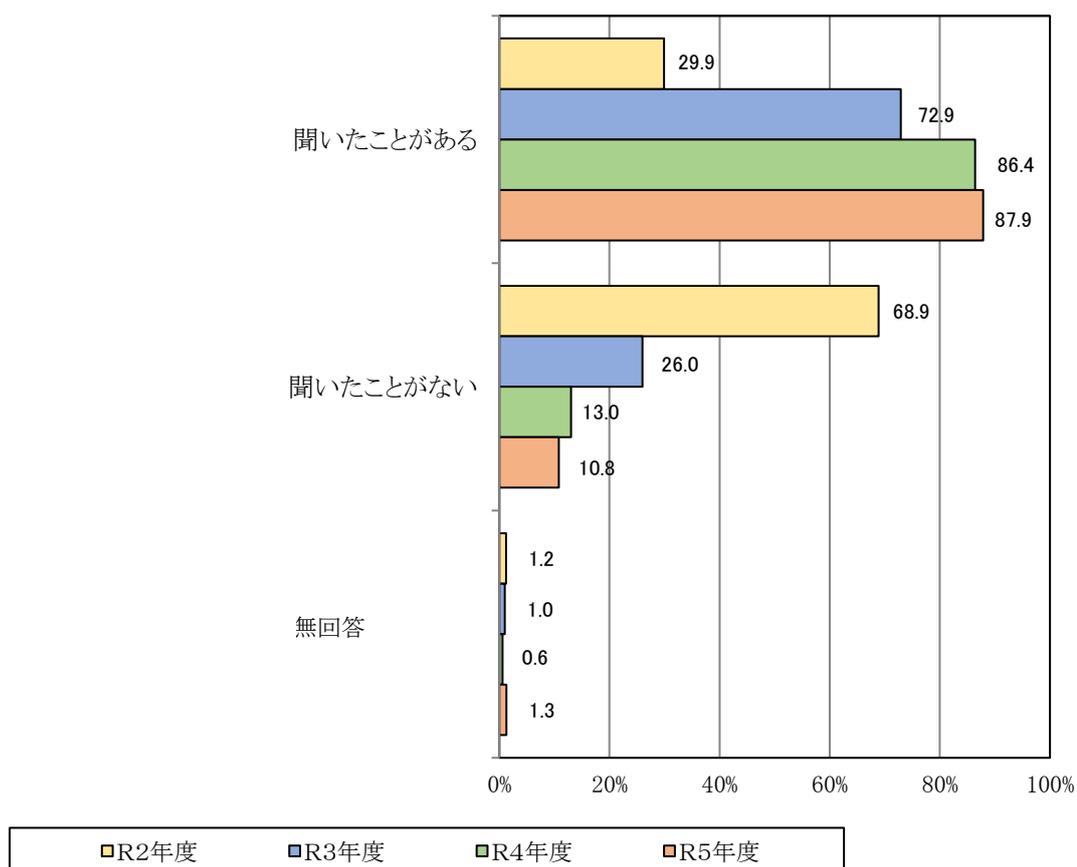
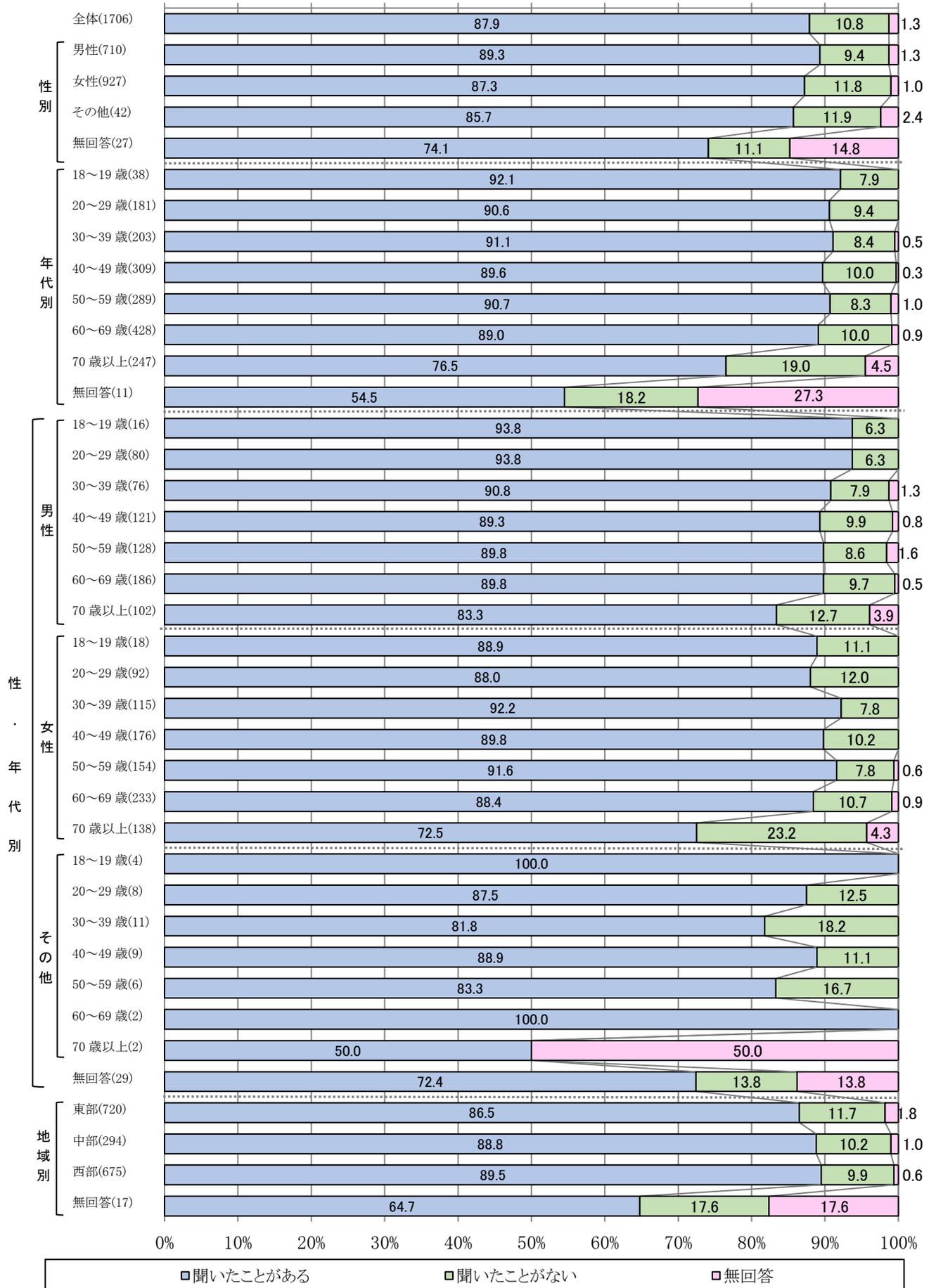


図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も高く、「新聞・雑誌」が次に高い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 79.1%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 51.0%、「インターネット」が 34.0%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、「新聞・雑誌」、「インターネット」、「仕事・学校で関わりがある」が概ね年度毎に増加している。

年代別でみると、「テレビ」は 30 歳代、60 歳以上で高く、「新聞・雑誌」は 50 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

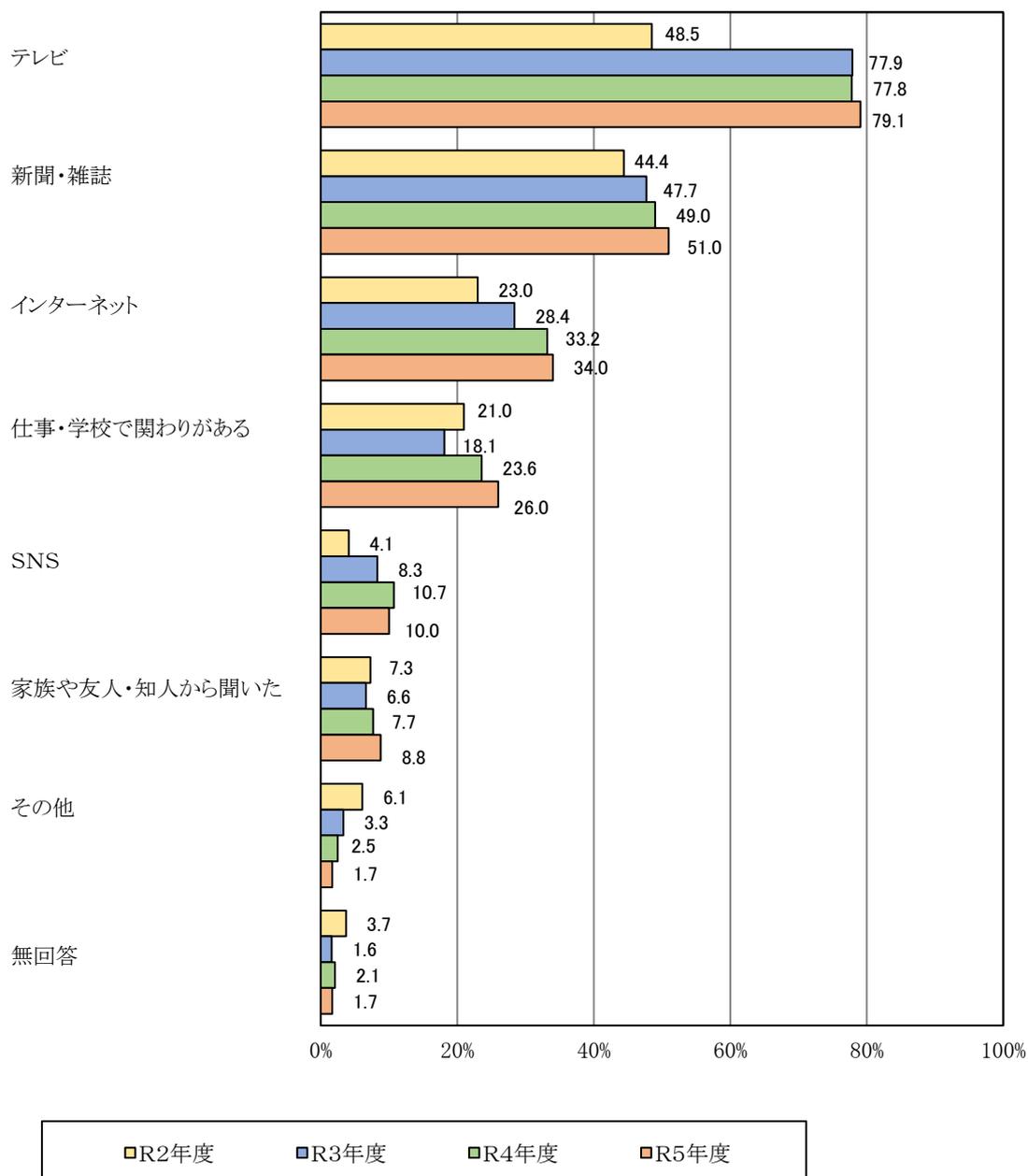
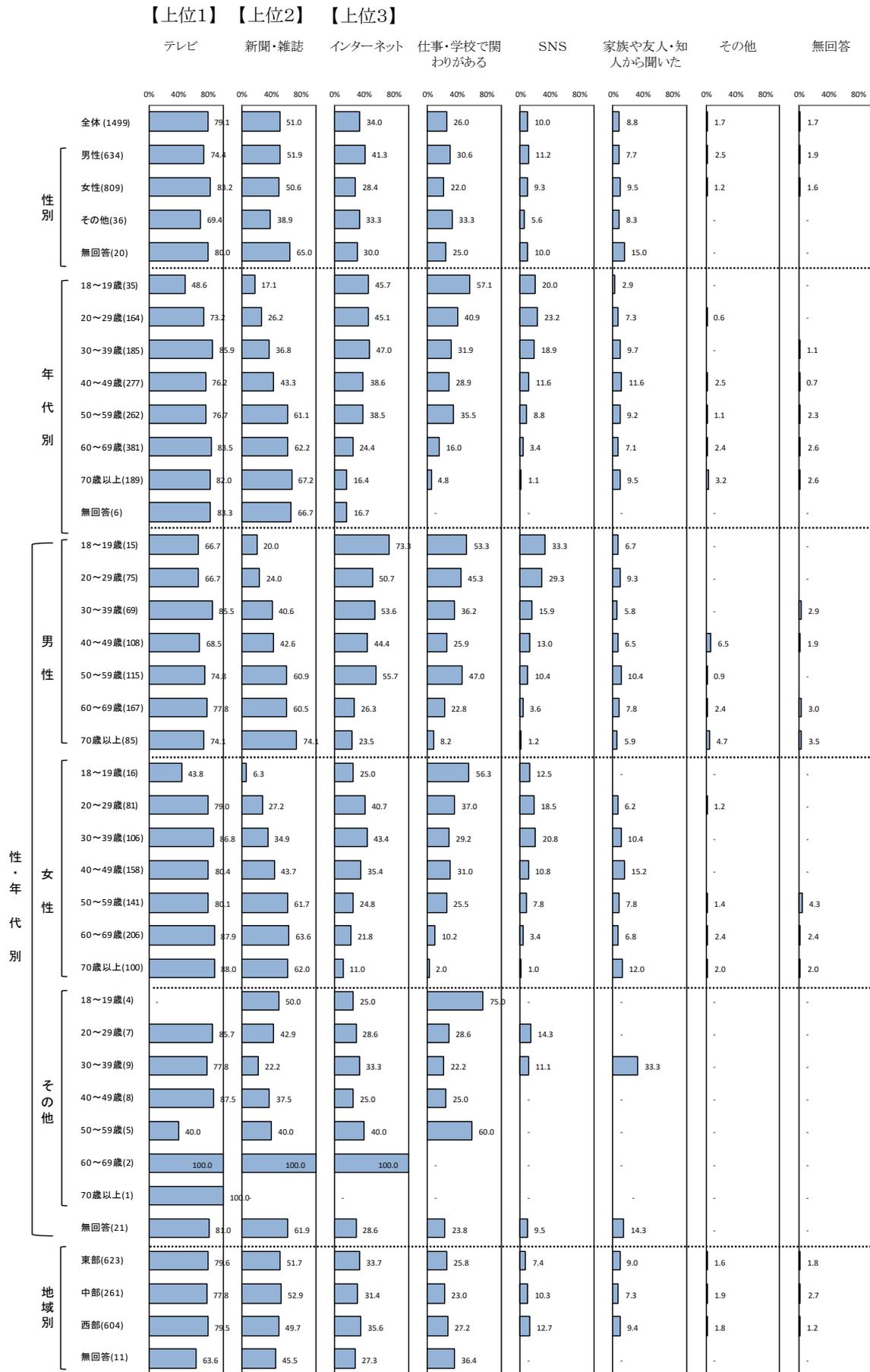


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「平和と安全・安心社会の実現」が51.1%と最も高く、次いで「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が49.0%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が39.7%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、上記3項目が常に上位を占めているが、5年度は前年度と比較すると下がっている。

年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳以上で高く、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は50～60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、ほぼ全ての年代において「平和と安全・安心社会の実現」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は男性より女性が高く、一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は女性より男性が高くなっている。

図34 あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか(年次比較)

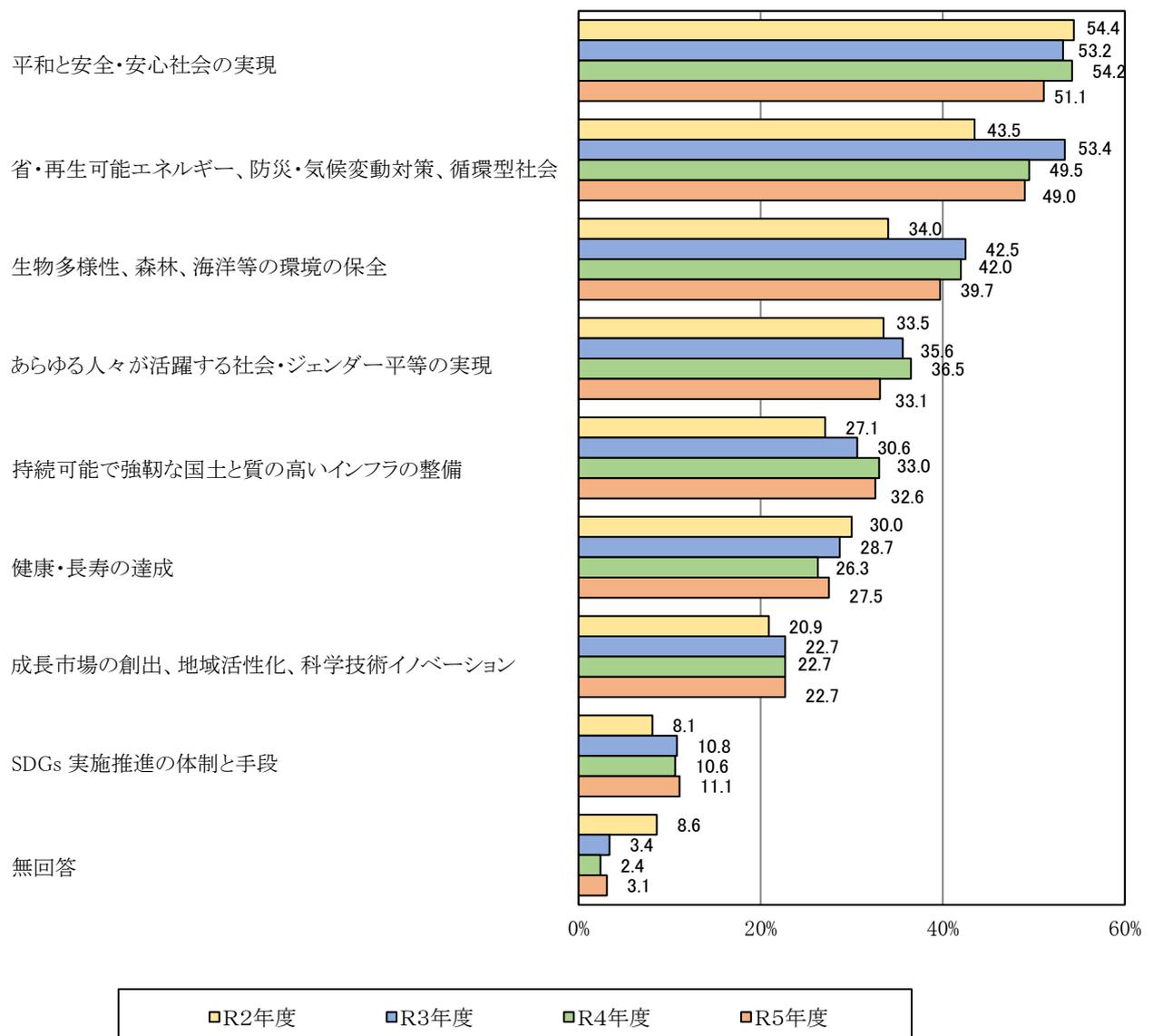
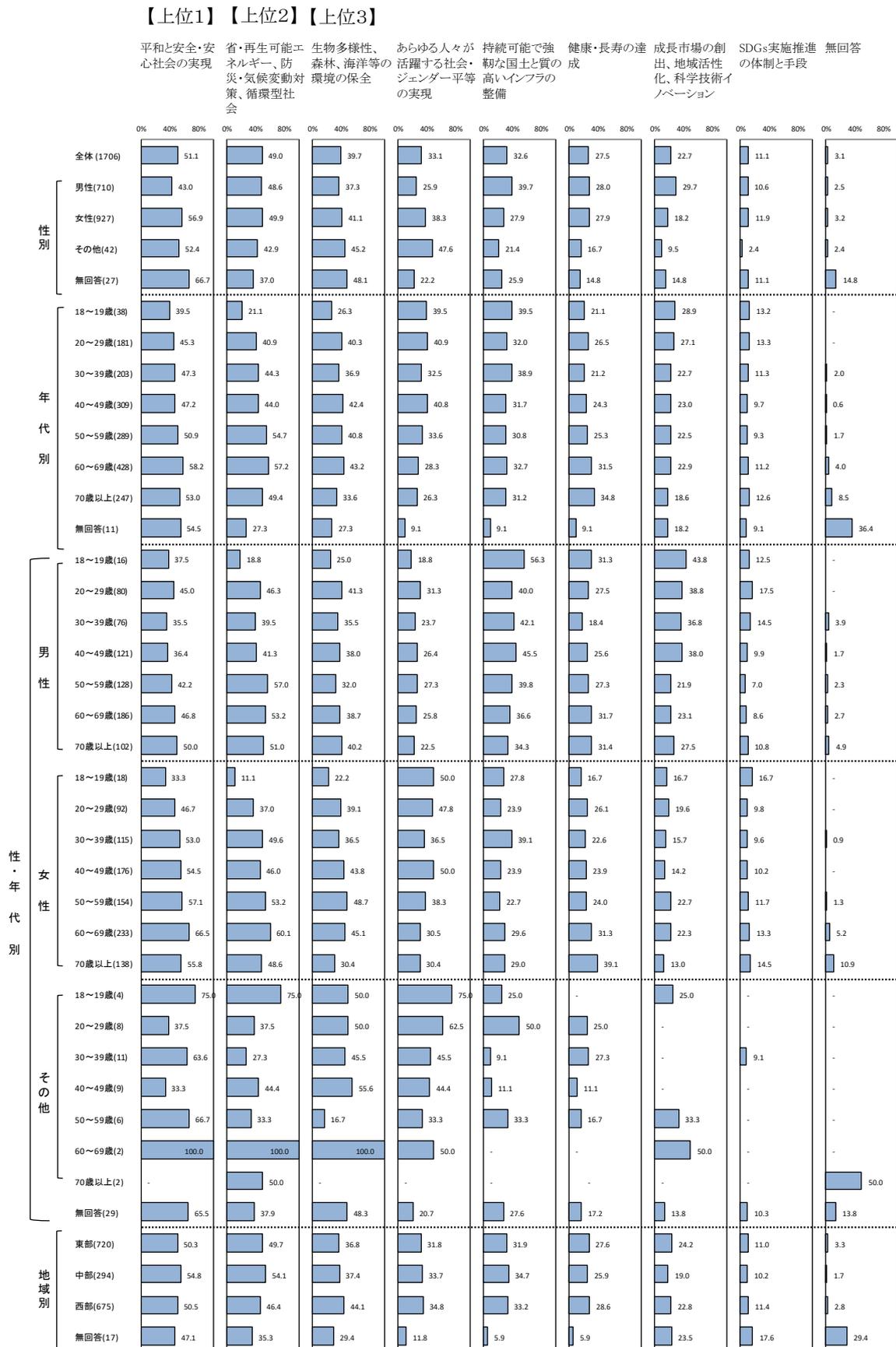


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が42.1%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が39.3%、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」が35.8%となっている。

令和3年度-5年度を比較してみると、多くの項目が減少ないし横ばいとなっているが、「SDGs実施推進の体制と手段」は5年度は前年度より1.3ポイント増加している。

性・年代別で見ると、「平和と安全・安心社会の実現」はほぼ全ての年代で男性より女性が高く、特に女性の50歳以上で高くなっている。また、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」についても全ての年代で男性より女性が高くなっている。

一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は全ての年代で女性より男性が高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題(年次比較)

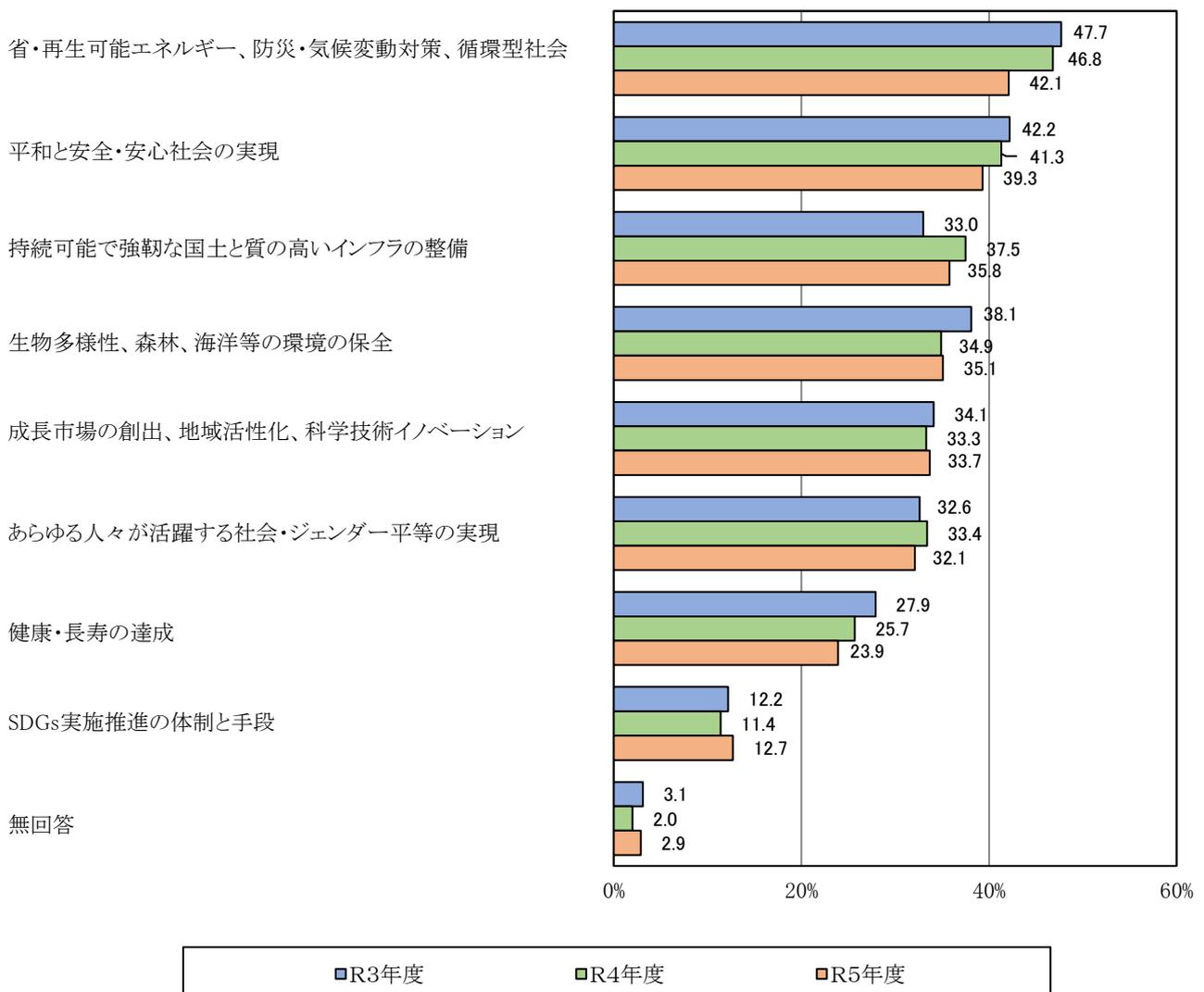


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)

